

2 共通総合教育科目

(情報電子システム工学科 (情報工学ビジネスコース))

(情報電子システム工学科(情報工学ビジネスコース))

凡例		②：集中講義 ○：共通総合必修 ●：指定学生履修 () 未開講 区分最低修得単位：科目区分ごとの修得すべき最低単位数（必修＋選択）															
科目区分		科目番号	授 業 科 目	科目単位	週授業時間数								必選科目	区分最低修得単位			
					1 年		2 年		3 年		4 年						
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
自己発見力	人との関わり	0158	やさしい哲学	2			2							6	全科目から4単位		
		0152	現代社会に生きる倫理	2			2										
		0551	体育実技Ⅰ	1			2										
		0552	体育実技Ⅱ	1			2										
	社会との関わり	0252	現代社会の諸相	(2)	2												
		0254	法学	2					2								
		0912	経営学総論	2	2												
		0915	技術と経営	2			2										
工学基礎力	基礎学力	0380	修学基礎	1	2							○	8				
		0387	数学入門	4	4							●					
		0388	基礎物理	4	4												
		0362	化学入門	2			2										
		0363	高分子化学	2			2										
	技術者入門	0255	技術者倫理	1					2			○					
		0251	産業と人間	2	2												
社会人基礎力	国際化	0471	英語入門演習	2	4							●	18				
		0472	実用英語	4	4							○					
		0473	総合英語Ⅰ	2			2										
		0474	総合英語Ⅱ	2			2										
		0475	英会話入門	2				2									
		0476	基礎英会話	2				2									
		0460	基礎ドイツ語	2	2												
		0461	ドイツ語	2	2												
		0065	日本語講座A	4	4	4				留学生のみ開講							
		0066	日本語講座B	4			2	2		留学生のみ開講							
	キャリア教育	0159	コミュニケーション技術Ⅰ	1	2							○					
		0160	コミュニケーション技術Ⅱ	1					2			○					
		0917	インターンシップ(事前指導)	1			②										
		0920	インターンシップ	2													
		0927	地域企業インターンシップ	2			②										
		0925	地域社会貢献活動	2													
		0928	地域貢献演習	2			②										
		0918	就業力演習	2				2				○					
		0934	ベンチャービジネス論	2				②									
		0935	マーケティング論	2			2										
一般教養		他大学等履修科目、その他指定する科目		(4)								0					
共通総合教育科目 計				77								10	32	4			
															36		

教科番号	0158	授業科目：やさしい哲学 (Introduction to Philosophy)		
開講時期	前期	(全) 学科 (2) 年 (2) 単位 担当者：知念 潔		
【授業の到達目標】 西洋近代の二大源流である、ギリシア哲学とキリスト教の思想を、それぞれ、具体的にソクラテス、プラトン、アリストテレスの哲学、そしてユダヤ教、キリスト教の基本的な事柄を開講する。哲学の基本的述語を易しく解説して哲学的な表現を理解できるようにする。				
【授業の概要】 かみ砕いた講義によって哲学の初歩を理解させる。既習の事項や用語の意味を尋ねて身につけているか確かめる。アクチュアルなテーマを講義中に投げかけ、それに対して、哲学的な思考をして自分の意見をまとめさせてみる。 また、アクティヴ・ラーニングについても考慮して積極的に取り入れていきたい。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1	序章	哲学 西洋思想 東洋思想 西洋思想の二大源流	哲学の語源 東西の思想の根本的相違 (有と無) を復習	90分
2	古代ギリシアの思想	エートス 黄金時代 ペロポネソス戦争とエートスの衰退	エートスの意味を復習	90分
3	ソクラテス	デルポイの神託 無知の知 神託の意味	無知の知の意味	90分
4	ソクラテス	問答法 ソクラテス裁判	問答法の意味	90分
5	ソクラテス	ソクラテスの死	死の意義	90分
6	プラトン	プラトンの論理主義 霊肉二元論 ソクラテスの生き方についてディスカッション	ソクラテスのまとめ	90分
7	プラトン	イデア エロス ソクラテスからプラトンへ	イデア、エロスの意味	90分
8	プラトン	想起説 無意識の世界	アナムネーシスの意味	90分
9	プラトン	魂の三部分説 馬車の比喻	三部分説とは？	90分
10	プラトン	哲人政治 理想国家	哲人政治とは？	90分
11	アリストテレス	現実主義 質料と形相	質料と形相の意味	90分
12	アリストテレス	心の構造 植物的心；動物的心；人間的心	心の構造とは？	90分
13	アリストテレス	中庸の徳と習慣 ヘブライズム	中庸の意味	90分
14	キリスト教	ユダヤ教の特徴 キリスト教について論じる	どんな特徴がある？	90分
15	キリスト教	ユダヤ教からキリスト教へ 悔い改めと信仰	悔い改めとは？	90分
【テキスト】 テキストは特別に定めない。担当教官の講義ノートから、授業中に、それを板書し解説する。				
【参考書・参考資料】 講義中に適宜紹介。書店で入手しやすい古典を紹介する。				
【成績評価基準・方法】 ノートのまとめかた (三回提出) (30%)、 出席状況 (20%)、 テスト (50%) で総合的な評価を行う。				

教科番号	0152	授業科目：現代社会に生きる倫理（Ethics in the modern society）		
開講時期	後期	（全）学科	（2）年	（2）単位 担当者：知念 潔
【授業の到達目標】 現代に生きる者にとって問題になる倫理を基礎づける、西洋近代の思想と倫理を、その成り立ちからカントによる完成までをあとづける。その際、その二大源流である、経験論と合理論を順次、解説し、それぞれの利点と欠点を明らかにして、カントによるその統合と、近代倫理学の確立を解説する。				
【授業の概要】 易しくわかりやすい解説で近代哲学、ならびに、倫理学の内容と用語を行ってゆく。内容と用語の意味するところを身につけ、自己を表現する時の、重要にして必要な語彙にしてもらいたい。現下のアクチュアルな実際問題へのテーマを講義中に提起し、それに対して倫理的思考を適用して、自分の意見をまとめてみさせる。アクティブな主体的な、積極性を喚起したい。				
回数	題目	授業内容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	序章	近世 神中心か人間中心へ	目的論とは？ 形相と質料の意味は？	90分
2	ベーコン（1）	近代科学の成立 知は力なり	経験論とは？ 合理論とは？	90分
3	ベーコン（2）	四つのイドラ	種族のイドラとは？ 洞窟のイドラとは？ 市場のイドラとは？ 劇場のイドラとは？	90分
4	ロック	経験論 ターブラ・ラサ	ターブラ・ラサとは？	90分
5	ヒューム	経験論の徹底 懐疑論	懐疑論とは？	90分
6	デカルト（1）	デカルトの生涯 方法論 デカルトから近代哲学が始まると言われるの何故か、考えてみよう	Method とは何だろう？	90分
7	デカルト（2）	我思う、故に、我あり 四つの準則	明証性、分析、総合、枚举、それぞれの規則とは？	90分
8	デカルト（3）	学問の木 暫定的道德	学問の木とは？	90分
9	デカルト（4）	情念の制御 自覚と訓練	情念とは？ 訓練とは？	90分
10	デカルト（5） スピノザ（1）	高邁の精神 スピノザの神 理神論	高邁の精神とは？ 理神論とは？	90分
11	カント（1）	カントの生涯	三批判書とは？	90分
12	カント（2）	模写説と構成説	構成説とは？ 感性とは？ 悟性とは？	90分
13	カント（3）	構成説の意義と限界	ものの自体(Ding an sich)とは？	90分
14	カント（4）	人間の二重性 自然因果と自由因果 カントに始まる自由に対する新しい考えを深く反省して自覚してみよう	自由因果とは何か？	90分
15	カント（5）	仮言命法と定言命法	現代に生きる倫理とは何か？	90分
【テキスト】 テキストは特別に定めない。担当教官の講義ノートから、授業中に、板書し解説する。				
【参考書・参考資料】 講義中に適宜紹介。書店で入手しやすい古典を紹介する。				
【成績評価基準・方法】 ノートのまとめ方（三回提出）（30%）、出席状況（20%）、テスト（50%）で総合的に評価する。				

教科番号	0551	授業科目：体育実技Ⅰ（Physical education practice Ⅰ）
開講時期	前期	（全）学科（2）年（1）単位 担当者： 岩元慎一
【授業の到達目標】 ・生涯生活での健康に基づく体育の役割を理解する。 ・社会生活の基本的なルールに基づく協調性を養う。		
【授業の概要】 人生における生涯生活の中で健康に基づく体育の役割を認識させ、運動（特に、トレーニング、持久走）の実践により、心身の発達を促し、よりよい社会生活の基本的なルールを会得し、学生相互の協調性を養成して集団生活及び個人生活を養う。霧島山麓の自然の中で、体力づくりを実施することにより、心身のリフレッシュと社会性を養う。 また、学習課題としての予習・復習については、毎回の授業内容の復習を兼ねて自主的にトレーニングを行い心身の健康管理や体力づくりに生かせるようにする。		
【授業要旨】		
回数	題 目	授 業 内 容
1	散歩	城山 アスレチック～城山～アスレチック 個人の体力を知る
2	筋力トレーニング(1)	腕力（腕立、腹筋、背筋、馬跳び等） 自己の体力の衰えを知る
3	筋力トレーニング(2)	脚力（サージャントジャンプ、スクワット、変形スタートダッシュ）
4	筋力トレーニング(3)	脚力（サージャントジャンプ、スクワット）
5	スポーツテスト	個々人の体力測定結果を知る
6	持久走 or トレーニング(1)	2kmx2 周（体育館～一高～中央高）補助トレーニング
7	持久走 or トレーニング(2)	2kmx2 周、補助トレーニング
8	持久走 or、バスケット、バレーボール	4km 向花方面（体育館～中央高から向花小折返）補助トレーニング 学生相互間の和を養う
9	持久走 or ウオーキング	6km 城山方面（体育館～中央高～国分高～城山折返）
10	持久走 or ウオーキング	7km 日当山方面（体育館～重久～日当山～向花～体育館）
11	持久走 or ウオーキング	8 km 鹿児島神宮（体育館～向花参宮橋～神宮折返）
12	持久走 or ウオーキング、マット運動	10km 清水～城山（森林浴を兼ねる）柔軟性の欠点を知る
13	アスレチック	アスレチック器具を使用して持久力を高める
14	早朝城山	学生生活と社会性の変化を知る
15	夜間歩行	歩くことにより、集団生活と協調性を養う（森林浴を兼ねる）、 60 km（国分～霧島～高千穂河原往復）
【テキスト】 プリント		
【参考書・参考資料等】 なし		
【成績評価基準・方法】 履修状況等を総合的に判断して評価する。		

教科番号	0552	授業科目：体育実技Ⅱ（Physical education practice Ⅱ）
開講時期	後期	（全）学科（2）年（1）単位 担当者：岩元慎一
【授業の到達目標】 ・生涯生活での健康に基づく体育の役割を理解する。 ・社会生活の基本的なルールに基づく協調性を養う。		
【授業の概要】 人生における生涯生活の中で健康に基づく体育の役割を認識させ、運動（特に、トレーニング、持久走）の実践により、心身の発達を促し、よりよい社会生活の基本的なルールを会得し、学生相互の協調性を養成して集団生活及び個人生活を養う。霧島山麓の自然の中で、体力づくりを実施することにより、心身のリフレッシュと社会性を養う。 また、学習課題としての予習・復習については、毎回の授業内容の復習を兼ねて自主的にトレーニングを行い心身の健康管理や体力づくりに生かせるようにする。		
【授業要旨】		
回数	題 目	授 業 内 容
1	散歩	城山 アスレチック～城山～アスレチック
2	・バレーボール 1	・理論による技術の解説
3	・バレーボール 2	・実技指導と学生相互の和を養う
4	・バスケットボール 1	・理論による技術の解説
5	・バスケットボール 2	・実技指導と集団プレーを養う
6	・バドミントン 1	・理論による技術の解説
7	・バドミントン 2	・実技指導と学生相互の和を養う
8	・テニス 1	・理論による技術の解説
9	・テニス 2	・実技指導と学生相互の和を養う
10	・サッカー 1	・理論による技術の解説
11	・サッカー 2	・実技指導と集団プレーを養う
12	・ソフトボール1	・理論による技術の解説
13	・ソフトボール 2	・実技指導と集団プレーを養う
14	体育講義 1	健康と体力について知識等を理解させる
15	体育講義 2	今後の体力増進について知識等を理解させる
【テキスト】 プリント		
【参考書・参考資料等】 なし		
【成績評価基準・方法】 履修状況等を総合的に判断して評価する。		

教科番号	0252	授業科目：現代社会の諸相（Various Aspects of Modern Society）		
実施期間	後期	（ 全 ）学科（1）年（2）単位 担当者：石田尾 博夫		
【授業の到達目標】				
・政治学の諸概念、専門用語について理解し、それらを用いて政治現象の実際を説明できるようにする。また、社会の構成員として必要な問題解決力と表現力が身につくようにする。				
・民主主義概念の歴史的変容を前提として、政治学のカバーする多様な問題をできる限り包括的に取上げることによって、個別科学としての政治学のアウトラインを理解してもらう。				
【授業の概要】				
・政治現象が、人間社会に随伴する社会現象であるとともに、身近なものであることを理解した上で、先達の政治研究の成果から政治現象をより深く理解できるようにしたい。				
・講義事項はすべて板書するので、必ずノートを準備されたい。				
【授業要旨】				
回数	題 目	講 義 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	政治とは何か①	はじめに 政治の定義	開講にあたっての注意喚起 講義内容の説明	20 70
2	政治とは何か②	政治の機能	前回講義の復習 講義内容の説明	10 80
3	政治とは何か③	実体概念と関係概念	前回講義の復習 講義内容の説明	10 80
4	権力①	サイモンとラズウェルの権力観	前回講義の復習 講義内容の説明	10 80
5	権力②	イーストンとパーソンズの権力観	前回講義の復習 講義内容の説明	10 80
6	権力③	アレントとルークスの権力観	前回講義の復習 講義内容の説明	10 80
7	権力④	フーコーの権力観	前回講義の復習 講義内容の説明	10 80
8	支配と服従①、 発表と討論	支配の分類、支配の正当性 講義で扱った項目について自ら調べた成果を発表し、それを評価する。	前回講義の復習 講義内容の説明 発表と討論	10 80 90
9	支配と服従②	支配・服従関係の安定化、エリート論	前回講義の復習 講義内容の説明	10 80
10	支配と服従③	リーダーシップ論	前回講義の復習 講義内容の説明	10 80
11	政治学の発展①	政治学の学問的特質、政治学固有の困難性	前回講義の復習 講義内容の説明	10 80
12	政治学の発展②	政治学の科学化	前回講義の復習 講義内容の説明	10 80
13	政治学の発展③	伝統的政治学と科学的政治学	前回講義の復習 講義内容の説明	10 80
14	政治学の発展④	システム論	前回講義の復習 講義内容の説明	10 80
15	政治学の発展⑤ 発表と討論	行動論革命と脱行動論革命、支配の正当性 講義で扱った項目について自ら調べた成果を発表し、それを評価する。	前回講義の復習 講義内容の説明 発表と討論	10 80 90
【テキスト】 砂原庸介、稗田健志、多胡淳『政治学の第一歩』（有斐閣ステュディア、2015年）				
【参考書・参考資料等】 ・川出良枝、谷口将紀編『政治学』（東京大学出版会、2012年） ・佐々木毅『政治学講義 第2版』（東京大学出版会、2012年）				
【成績評価基準・方法】 期末試験 80%、平常点 20%（出席・レポート）の総合評価				

教科番号	0254	授業科目：法学（ Law ）		
開講時期	後期	（ 全 ） 学科（3）年（2）単位 担当者： 関口晃治		
【授業の到達目標】				
・法の常識的知識を身につけ、これからの社会での生活に役立てられることを目標とする。				
【授業の概要】				
学生の皆さんには、新聞を読んだりテレビ等を視聴したりすることを督促し、授業でも各法律に関連して、できる限り身近な時事的出来事を題材に取上げ、より理解を深めやすいような講義とする。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	法の分類	日本国憲法・民法・刑法などの我が国における法の分類	プリント（1）を読み学習 本時授業の復習	70 30
2	基本六法について	日本国憲法・民法・刑法・商法・民事訴訟・法刑事訴訟法の概観と法学への導入	プリント（2）を読み学習 本時授業の復習	70 30
3	日本国憲法	前期で学習した日本国憲法についての復習	プリント（2）を読み学習 本時授業の復習	70 30
4	民法（1）	総則についての解説	プリント(3～6)を読み学習 本時授業の復習	70 30
5	民法（2）	物権・債権についての解説	プリント(7～9)を読み学習 本時授業の復習	70 30
6	民法（3）	親族・相続についての解説	プリント(10～11)を読み学習 本時授業の復習	70 30
7	1回～6回までのまとめ	まとめの問題の解答について討議し、理解を深める	まとめ問題を解き、理解を深める 討議の内容をまとめる	90 30
8	刑法（1）	刑法の役割、犯罪の成立要件（行為・構成要件）	プリント（12）を読み学習 本時授業の復習	70 30
9	刑法（2）	犯罪の成立要件（違法性・責任）	プリント（13）を読み学習 本時授業の復習	70 30
10	商 法	企業関係における諸問題	プリント（14）を読み学習 本時授業の復習	70 30
11	刑事訴訟法・民事訴訟法	犯罪の捜査、裁判（公判）、裁判で言い渡された刑の執行。民事訴訟の機構及び作用	プリント（15）を読み学習 本時 授業の復習	70 30
12	労働法	労働法の意義、労働組合、労働契約、労働災害及びその補償	プリント（16）を読み学習 本時授業の復習	70 30
13	手形・小切手法	手形・小切手の経済的機能	プリント（17）を読み学習 本時授業の復習	70 30
14	諸法律の課題	普段の生活における法律とのかかわりについて討議し、理解を深める	課題について討議し、レポート作成 討議の内容をまとめる	120 60
15	まとめ	小テスト まとめと総括	小テストの準備 プリント整理とまとめ	90 30
【テキスト】 プリント、資料				
【参考書・参考資料等】 プリント配付				
【成績評価基準・方法】 ノート記録状況&受講態度（30%）、レポート（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。				

教科番号	0912	授業科目：経営学総論（business administration introduction）		
開講時期	後期	（ 全 ）学科（1）年（2）単位	担当者： 石田尾 博夫	
【授業の到達目標】				
・企業経営の基本的考えについて理解を深め、企業を取り巻く経営環境、企業の社会的責任についても理解ができる。				
【授業の概要】				
近年、わが国の企業を取り巻く環境は、益々その厳しさを増しつつある。このような状況のもとで、企業の中には、生産・販売などの経営活動を合理的・経済的に維新するとともに、組織の革命、管理の科学化に取り組み、業績を伸ばしているものが見られる。そこで、本講義では、企業の成長発展の基礎となる経営者の理念、経営環境との関連性、経営戦略、経営意志決定、リーダーシップなどについて学ぶ。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	経営学の世界	経営資源、会社と企業の区別。 経営と管理の区別。	テキスト(P1~2)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	経営学と経済学	企業の3機能、企業の利益と経営効率、経営学と経済学。	テキスト(P3~6)を読みまとめる。 授業の復習をする。	30 60
3	経営組織	経営組織の形態（ライン・スタッフ）CEO/COO、リーダーシップ論。	テキスト(P7~9)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
4	経営構造の発展（1）	職能別組織、事業部制組織、マトリックス組織。	テキスト(P10~13)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
5	経営構造の発展（2）	SBU、アントレプレナー。	テキスト(P12~13)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 30
6	経営戦略（1）	事業戦略（5つの競争戦略・競争戦略の3類型）	テキスト(P14~21)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
7	1回～6回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッション等で理解を求める。	演習問題を解き理解を深める。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
8	経営戦略（2）	CSR,PPM 分析	テキスト(P27~29)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
9	経営戦略（3）	SWOT 分析	テキスト(P30~31)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
10	マーケティング論（1）	マーケティングの4P、4C	テキスト(P32~33)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
11	マーケティング論（2）	サプライチェーン・マネジメント（SCM）	テキスト(P73~74)を読みまとめる。 授業の内容を復習をする。	30 60
12	マーケティング論（3）	POP システム、プッシュ・プル戦略	テキスト(P40~41)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
13	マーケティング論（4）	M&A,AIDMA 理論	テキスト(P41)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
14	経営学の課題	日本型経営の特徴と現状経営を比較し課題を理解する。	海外で活躍する日本企業の経営、企業の社会的責任等レポートにまとめる。	120 60
15	まとめ	まとめと総括、小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	60 120
【テキスト】講義ノート「経営学」石田尾 博夫編 日本経済大学刊				
【参考書】 授業中に適宜配布する。				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況・レポート（30%）、テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。				

教科番号	0915	授業科目：技術と経営（Technology and Management）		
開講時期	前期	（ 全 ）学科（2）年（2）単位 担当者：當金一郎		
【授業の到達目標】 現代社会の技術を取り巻く概況を国内外に渡って認識する。大学で修めた技術を実社会で効果的に生かすことができるように技術経営の基本を理解する。				
【授業の概要】 技術と経営とは一見すると結びつきにくいように感じるが、現代の経営の多くは技術と密接に関わるものが多い。日本企業が国際競争力を取り戻すには、「経営感覚のある技術者」が握っていると云われている。本講義では、技術と経営の両方の視点で活躍できる技術者の育成を目指して議論を進めていく。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習復習）	時間（分）
1	技術と経営	技術者に求められる経営管理とは	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	MOTとは何か	Management of Technology の視点、MBA との違いは	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
3	市場環境と技術経営	市場ニーズ、価値連鎖、新製品開発	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
4	技術戦略とは(1)	技術戦略とは、技術戦略策定のプロセス	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
5	技術戦略とは(2)	競争優位の技術戦略、技術投資の意思決定	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
6	研究開発マネジメント	研究開発とは。研究開発予算管理、製品開発プロセス	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
7	1回～6回のまとめ	社会状況の変化と理解促進。ディスカッション	授業前半総括、課題の検討と発表、ディスカッション	90
8	知的財産マネジメント(3)	製品開発の組織、知的財産権マネジメント	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
9	アライアンスマネジメント	外部企業利用の必要性、アライアンスの種類と形態	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
10	生産マネジメント	生産管理とは、工程管理、作業管理	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
11	生産マネジメント	品質管理、資材購買管理	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
12	CTI の基礎	コンパティティブ・テクニカル・インテリジェンス	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
13	プロジェクトマネジメント	プロジェクトマネジメントの手法、研究開発の効率化	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
14	レピュテーションマネジメント	企業の社会的責任（CSR）、企業市民	授業の全体総括とグループディスカッション。	90
15	まとめ	学修のまとめと総括	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
【テキスト】 「技術経営入門 わかりやすいMOTの考え方」阿部隆夫著（森北出版）				
【参考書・参考資料等】 技術経営論：藤末健三（生産性出版）。コンパティティブ・テクニカル・インテリジェンス：菅澤嘉男（コロナ社）。レピュテーションマネジメント：（日本実業出版社）。バランススコアカード入門：吉川武男（生産性出版）。技術マネジメント入門：三澤一文（日経文庫）。技術士制度における総合技術監理部門の技術体系：（日本技術士会）。通勤大学 MBA11, MOT: 総合法令				
【成績評価基準・方法】 受講態度(20%)、レポート、小テスト(20%)、最終評価試験(60%)を行い、総合的な評価を行う。				

教科番号	0380	授業科目：修学基礎 （ School Foundation ）		
開講時期	前期	（ 全 ） 学科（ 1 ） 年（ 1 ） 単位 担当者：各学科教員		
【授業の到達目標】				
大学における修学や生活に取り組む態度・心構えを身につけ、自己管理能力を養成し、自己実現に向かって積極的かつ実践的に取り組むことができるようにする。				
また、卒業後、技術者として将来の目標を設定する必要性を学び、希望する専門領域を確定し、その学習のための事前準備を含めた履修計画や行動を自ら立案し実行することができるようにする。				
【授業の概要】				
大学生として自主的に学び、考え、行動するための基礎を築き、卒業後の自分の姿を具体化し、目標を明確にする手助けとする。				
履修方法の指導、講義を受けるための基礎となるノートの取り方、テキストの読み方、レポートの書き方などを学ぶ。また、外部講師等の講話を聴講し、4年間の学生生活を心身ともに健康に過ごすための方策とする。				
図書館をはじめとした大学の諸施設の見学や利用方法を学び、自分の目的に応じて学習環境を利用できるようになることを目指す。				
また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	イントロダクション	・大学で学ぶ意義、講座の目的を知る。 ・各学科教員の紹介と教員の経験に基づく訓話。 ・将来の目標について考える。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	学生生活と心の健康（全学科620教室）	・青年期における悩みや不安についての理解とその対応（ストレスマネジメント）について学ぶ。 ・学生相談室の概要と利用の仕方について。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。 （担当者：切手）	30 60
3	学生生活での危機対策（全学科620教室）	・大学生生活で陥りやすい問題（薬物乱用等）の正確な知識を得て、退学処分等を受けることなく勉学を全うするための心構えを学ぶ。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。 （担当者：外部講師）	30 60
4	スタディ・スキルを身につけよう（全学科620教室）	・人類を人間として発達させた「ことば」の意味を考え、ことばでノートをとる技能のイロハをやってみる。	400字以内で抱負を書いてくる。（提出） 主張文構造を復習する。 （担当者：岩橋）	60 60
5	学科・コースの紹介	・卒業後を見据えた各コースの紹介。 ・先輩たちの就職先の紹介。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
6	単位の修得等	・単位の修得（4年間のコースごとの単位習得についてのシュミレーションを提示）、テストの受け方やレポートの書き方。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
7	修学・生活態度	・1年間の学習計画、行動計画をワークシートにしたがって書き、提出させる。それに基づいてクラスアドバイザーとの面談を後日行う。	資料を読みまとめる。 面談内容をまとめて復習する。	60 60
8	情報収集の仕方	・図書館の利用の仕方、インターネットの利用の仕方。実際に学科ごとに図書館とコンピュータールームに行って、簡単な利用上の説明を受けた後、レポート作成などの具体例を挙げてより詳しく図書館、インターネットの活用法を学ぶ。	資料を読みまとめる。 図書館利用やインターネットの活用法をまとめて復習する。	60 60
【テキスト】 随時資料配付				
【参考書・参考資料等】 なし				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況&受講態度（50%）、レポート（50%）で総合的な評価を行う。				

教科番号	0387	授業科目：数学入門（ Introductory Mathematics ）		
開講時期	前期	（全）学科（1）年（4）単位 担当者：竹下俊一・福永知哉		
【授業の到達目標】 工学全般に必要な微積分学や線形代数を学ぶ上で必要な基礎的な事項を学び、高等学校数学からのなめらかな接続をめざす。				
【授業の概要】 高等学校までの学習において、履修科目や習熟度の差があることに配慮し、基礎的な事項の定着をめざす。論理的な説明はなるべく簡略にし、基礎事項の学習や問題演習に時間をかけ、計算力の習熟をめざす。工学や日常の例をできるだけ取り上げ、興味を持って学べるよう工夫する。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	数や量の概念	数と量の計算、人割合、いろいろな数量関係	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	式とグラフ	1次式・2次式・分数式、式とグラフ・方程式	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
3	式 と 計 算 1	整式の加法・減法・乗法・展開、因数分解	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
4	式 と 計 算 2	整式の除法、因数定理、3次以上の方程式	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
5	式 と 計 算 3	グラフと不等式、1次不等式、2次不等式、	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
6	三 角 関 数 1	三角比、一般角と弧度法、単位円と三角関数	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
7	三 角 関 数 2	三角関数の相互関係、三角関数の性質	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
8	三 角 関 数 3	三角関数のグラフ、三角関数の方程式・不等式	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
9	三 角 関 数 4	単位円と三角関数、加法定理	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
10	三 角 関 数 5	2倍角・半角、積⇔和・差、合成	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
11	三 角 関 数 6	単位円と逆三角関数、逆三角関数の値	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
12	11回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解説し発表する。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
13	指数・対数関数 1	累乗と累乗根、指数法則、指数の拡張	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
14	指数・対数関数 2	指数関数の性質、指数関数のグラフ	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
15	指数・対数関数 3	指数関数と対数関数、対数の性質	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
16	指数・対数関数 4	対数関数のグラフ、対数の応用	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
17	16回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解説し発表する。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
18	ベ ク ト ル 1	ベクトルの加法・減法・実数倍	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
19	ベ ク ト ル 2	座標平面、座標空間、ベクトルの成分表示	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60

20	ベクトル 3	内積の定義、内積の性質、計算法則	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
21	ベクトル 4	成分と内積、内積の応用	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
22	21回までの まとめ	演習問題の解答・解説とまとめについて ディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解説し発表する。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
23	ベクトル 5	図形とベクトル、直線や曲線のベクトル 方程式	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
24	複素数 1	複素数、複素数の計算、複素数と方程式 の解	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
26	複素数 2	複素数平面、複素数平面における加法・ 減法	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
27	複素数 3	複素数の極形式表示、ド・モアブルの定 理とベキ乗根	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
28	複素数 4	指数関数表示、極表示、オイラーの定理	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
29	複素数 5	指数関数表示、極表示、オイラーの定理	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
30	まとめ	まとめと総括。小テストの実施		60 120
【テキスト】 実教出版 「理工系の基礎数学」				
【参考書・参考資料等】 なし				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況&受講態度（30%）、小テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。				

教科番号	0388	授業科目：基礎物理（ Basic Physics ）		
開講時期	前期	(全) 学科 (1) 年 (4) 単位 担当者：山田 猛矢、大脇 康博、福永 知哉		
【授業の到達目標】				
・ 力学・熱力学・波動学・電磁気学・原子物理を概念的に理解し、簡単な計算ができるようになる。 ・ 物理分野全般の現象をイメージできるようになる。				
【授業の概要】				
身近な例や多くの絵によって、イメージ的に理解することを優先する。単位や三角関数などのおさらいから半導体や放射線まで、物理全般を直感的に説明する。専門外の技術課題に対してある程度理解ができ、将来、他分野の技術者と協働できるようになるために、どの分野の技術者も教養として知っておくべき物理を学ぶ。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	物理のための道具 (1)	単位、有効数字、三角関数	テキスト(p1～4)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
2	物理のための道具 (2)	指数関数、対数関数	テキスト(p5～7)を読みまとめる。 テキスト p8 の問題を解く。	90 150
3	力学の基本 (1)	速度、加速度	テキスト(p9～12)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
4	力学の基本 (2)	落下運動、反発係数	テキスト(p13～16)を読みまとめる。 テキスト p17 の問題を解く。	90 150
5	運動と力 (1)	力、運動方程式、力のつり合い	テキスト(p18～22)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
6	運動と力 (2)	慣性の法則、作用反作用の法則	テキスト(p23～24)を読みまとめる。 テキスト p25 の問題を解く。	90 150
7	圧力と回転	圧力、気圧、水圧、浮力、力のモーメント、重心	テキスト(p26～32)を読みまとめる。 キスト p33 の問題を解く。	90 120
8	1～7 回までのまとめ	力学分野(力と運動方程式)についての工学分野の応用においてディスカッションを行い理解を深める。	力学分野(力と運動方程式)の復習。 ディスカッションの内容についてまとめる。	180 120
9	エネルギーと保存則 (1)	仕事、仕事率、運動エネルギー、位置エネルギー	テキスト(p34～37)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
10	エネルギーと保存則 (2)	弾性エネルギー、エネルギー保存の法則	テキスト(p38～39)を読みまとめる。 テキスト p40 の問題を解く。	90 150
11	運動量と慣性力 (1)	運動量、力積、運動量保存の法則	テキスト(p41～43)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
12	運動量と慣性力 (2)	相対速度、慣性力、遠心力	テキスト(p44～45)を読みまとめる。 テキスト p46 の問題を解く。	90 150
13	9～12 回までのまとめ	力学分野(エネルギー保存則, 運動量保存則)についての身近な物理現象においてディスカッションを行い理解を深める。	力学分野(エネルギー保存則, 運動量保存則)の復習。ディスカッションの内容についてまとめる。	180 180
14	気体分子の運動と熱 (1)	熱運動、熱量保存の法則、ボイル・シャルルの法則	テキスト(p48～51)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
15	気体分子の運動と熱 (2)	状態方程式、内部エネルギー、熱力学第1法則	テキスト(p51～54)を読みまとめる。 テキスト p56 の問題を解く。	90 150
16	波の性質と表し方 (1)	振幅、波長、振動数、位相、横波・縦波	テキスト(p57～90)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
17	波の性質と表し方 (2)	回折、反射、屈折、定常波、干渉	テキスト(p61～64)を読みまとめる。 テキスト p65 の問題を解く。	90 150
18	音と光 (1)	音波、うなり、ドップラー効果	テキスト(p66～69)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
19	音と光 (2)	光、全反射、レンズ、光の干渉	テキスト(p70～73)を読みまとめる。	90

			テキスト p78 の問題を解く。	150
20	14～19 回までのまとめ	熱、波分野についての身近な物理現象においてディスカッションを行い理解を深める	熱、波分野の復習。 ディスカッションの内容についてまとめる。	180 180
21	静電気と力 (1)	電子、静電気力、電気量保存の法則	テキスト(p79～80)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
22	静電気と力 (2)	電場、電位	テキスト(p81～82)を読みまとめる。 テキスト p83 の問題を解く。	90 150
23	オームの法則、電気回路	自由電子、オームの法則、電力、アース、コンデンサー	テキスト(p84～90)を読みまとめる。 テキスト p93 の問題を解く。	90 120
24	電流と磁場 (1)	磁場、コイル、右ねじの法則	テキスト(p94～96)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 150
25	電流と磁場 (2)	フレミングの左手の法則、ローレンツ力、モーター	テキスト(p97～99)を読みまとめる。 テキスト p100 の問題を解く。	90 120
26	交流 (1)	電磁誘導、誘導電流、交流電源	テキスト(p101～104)を読みまとめる。授業の内容を復習する。	90 150
27	交流 (2)	自己誘導、相互誘導、電磁波	テキスト(p105～107)を読みまとめる。テキスト p108 の問題を解く。	90 120
28	原子物理	半導体、集積回路、放射線、放射性崩壊、半減期	テキスト(p109～113)を読みまとめる。テキスト p114 の問題を解く。	120 150
29	21～28 までのまとめ	電気、磁気分野について身近な物理現象を調べディスカッションを行い理解を深める。	電気、磁気分野の復習。 ディスカッションの内容についてまとめる。	180 120
30	総合演習、まとめ	総合問題演習とまとめと各専門分野とのつながりについて。	テキストの章末問題の解きなおし等、テストに備える。	240
【テキスト】 教養基礎シリーズ「まるわかり！基礎物理」時政孝行 監修 栞子 研 著 南山堂				
【参考書・参考資料等】 授業中に適宜配布する。				
【成績評価方法】 試験 (80%) , 授業態度(20%) で総合的な評価を行う。				

教科番号	0362	授業科目： 化学入門 (Introduction of Chemistry)		
開講時期	前期	(全) 学科 (2) 年 (2) 単位 担当者： 切手 純孝		
【授業の到達目標】				
・ 原子の構造と電子軌道について理解を深め、物質の結合論と化学的性質についても理解ができる。				
・ 物質の三態 (固体・液体・気体) について、それぞれの基本的法則の理解ができる。また、理想気体の状態方程式を活用した応用的な問題も理解ができる。				
・ 化学反応の定量的な取り扱いができる。特にモル濃度については実験の要素も含んだ理解ができる。				
【授業の概要】				
講義と演習によって精選した化学の基本概念を理解させ、専門科目の材料科学を履修するための基礎を修得させる。さらに、小テストやディスカッションも取り入れて理解を深めさせる。また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題 (予習・復習)	時間(分)
1	物質の分類	純物質と混合物、単体と化合物、元素記号と元素名	テキスト(P2~10)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	物質の構成 (1)	原子の構造、原子の表し方、小テストの実施	テキスト(P12~15)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	60 60
3	物質の構成 (2)	同位体、物質の表し方と化学式	テキスト(P15~25)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
4	電子配置 (1)	電子殻と原子軌道、電子の収容	テキスト(P33~38)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
5	電子配置 (2)	多電子原子の電子配置、閉殻構造、小テストの実施	テキスト(P39~42)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	60 60
6	電子配置と周期表の関係	最大電子収容数と閉殻電子配置の関係	テキスト(P42~47)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
7	1回～6回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解き理解を深める。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
8	化学結合 (1)	イオン結合、金属結合、金属結晶の構造	テキスト(P51~56)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
9	化学結合 (2)	共有結合、不対電子、共有電子対、配結合	テキスト(P56~66)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
10	化学結合 (3)	分子の極性、分子間力、水素結合	テキスト(P67~71)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
11	化学量論 (1)	原子の相対質量、原子量、分子量、小テストの実施	テキスト(P75~78)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	60 60
12	化学量論 (2)	物質質量、気体の体積、気体の状態方程式	テキスト(P78~79)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
13	化学量論 (3)	モル質量とモル濃度、その他の濃度	テキスト(P80~86)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
14	科学の課題	地球温暖化の原因とその対策についてディスカッションにより理解を深める。	地球温暖化の原因を調べ、その対策を考えレポートにまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
15	まとめ	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	60 120
【テキスト】 化学入門 千葉工業大学教育センター科学教室 編 学術図書出版社				
【参考書・参考資料等】 授業中に適宜配布する。				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況&レポート (30%)、小テスト (10%)、試験 (60%) で総合的な評価を行う。				

教科番号	0363	授業科目： 高分子化学 (Polymer Chemistry)		
開講時期	後期	(全) 学科 (2) 年 (2) 単位 担当者：切手 純孝		
【授業の到達目標】				
・有機化合物の IUPC 命名法にそった名称がつけられる。 ・プラスチックの名称・構造と基本的な性質が関連付けられる。				
【授業の概要】				
有機化合物に関する高校での理解度はかなり低く、有機高分子に至っては皆無に等しい。それにもかかわらず、有機化合物は工業材料（プラスチック）としての利用度が高い。 有機化合物に関する下記の内容を詳細に講義することは時間的に困難である。したがって高分子に関する講義を主体とすることによって、今後、学生が技術者として高分子材料に遭遇したとき、その材料の名称からおおよその性質が推察できるように工夫する。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題 (予習・復習)	時間(分)
1	物質の三態と特性	固体・液体・気体の特徴、融解点・凝固点・沸点・沸騰・蒸発・昇華	テキスト(P88~89)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	物質の相図と特徴	個相・液相・気相の特徴、三重点・臨界点、標高と気圧、	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
3	理想気体と実在気体	ボイルの法則、シャルルの法則、気体の状態方程式、	テキスト(P76~78)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	60 60
4	モル濃度と実験	溶解度、質量パーセント、モル濃度、アボガドロ定数、	テキスト(P79~82)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
5	化学反応(2)	酸化数と酸化還元反応、特別な化学反応	テキスト(P91~94)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
6	化学反応(1)	酸・塩基と中和反応、水素イオン濃度と pH、	テキスト(P95~99)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
7	まとめと復習	1回～6回までの小テストと解説。質問によるディスカッション	小テストの準備。授業の復習をする。 授業の内容を復習する。	120 60
8	炭素原子と S P 混成軌道	2S と 2P 軌道の特徴、混成軌道形成の考え方	テキスト(P61~65)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
9	炭化水素化合物(1)	有機化合物の命名と構造式の特徴 アルカン、アルケン、アルキン	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
10	炭化水素化合物(2)	Alkane 連鎖異性体、Alkene 位置異性体、幾何異性体	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
11	炭化水素化合物(3)	脂環式炭化水素と芳香族炭化水素の構造と特性	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
12	炭化水素化合物の反応	置換反応、付加反応、付加重合、エステル化反応	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
13	酸素を含む有機化合物	アルコール、アルデヒド、カルボン酸の構造と特性	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
14	科学の課題	ダイオキシンなどの有機塩素化合物についてのグループディスカッションにより理解を深める。	ダイオキシンなどについて調べ、自分の考えをレポートにまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
15	まとめ	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	60 120
【テキスト】 化学入門 千葉工業大学教育センター科学教室 編 学術図書出版社				
【参考書・参考資料等】 授業中に適宜配布				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況&受講態度 (30%)、中間テスト (10%)、試験 (60%) で総合的な評価を行う。				

教科番号	0255	授業科目：技術者倫理（ Engineer ethics ）		
開講時期	後期	（ 全 ） 学科（3）年（1）単位 担当者：各学科教員		
【授業の到達目標】				
・技術者倫理の基本的事項が理解できる。				
【授業の概要】				
本授業科目は、技術者倫理の専門家を養成することではなく、企業で働いていて技術者倫理が問われる問題に遭遇したとき、正しい判断ができる知識を教えることを目的とする。				
・技術者として、つねに専門技術の向上に努めるとともに、良心に基づいて行動する。				
・技術者として、相互に信頼し合い、相手の立場を尊重し行動する。				
・技術者として、業務上知り得た秘密を他に漏らしたり、または盗用したりしない。				
・アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	技術者倫理序論 (外部講師)	技術者としての良心に基づいた行動について。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	技術者と倫理 (外部講師)	技術者として、相互に信頼し合い、相手の立場を尊重した行動について。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
3	倫理問題への対応	技術者としての守秘義務、環境保全、労働安全衛生等について。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
4	実践的技術者倫理	技術者倫理が問われる問題に遭遇したとき、正しい判断ができる知識について。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
5	事例から学ぶ技術者倫理（1）	事例1：技術者倫理が問われる事例を基にした、グループ討議やグループ学習を行う。	資料を読みまとめる。 グループ討議の内容をまとめて復習する。	60 60
6	事例から学ぶ技術者倫理（2）	事例2：技術者倫理が問われる事例を基にした、グループ討議やグループ学習を行う。	資料を読みまとめる。 グループ討議の内容をまとめて復習する。	60 60
7	事例から学ぶ技術者倫理（3）	事例3：技術者倫理が問われる事例を基にした、グループ討議やグループ学習を行う。	資料を読みまとめる。 グループ討議の内容をまとめて復習する。	60 60
8	まとめと総括	技術者倫理に関する事例研究のまとめを行い、グループごとに発表する。	発表用の原稿を作成する。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
【テキスト】				
資料、プリント、その他				
【参考書・参考資料等】				
技術者倫理入門		谷垣昌敬 監修	オーム社	
はじめての工学倫理		齋藤了文・坂下浩司 編	昭和堂	
【学生に対する評価】				
ノート取得状況、発表態度、授業態度等（70%）、レポート（30%）で総合的な評価を行う。				

教科番号	0251	授業科目：産業と人間（Human and Industry）		
開講時期	前期	（ 全 ） 学科（１）年（２）単位	担当者： 石田尾 博夫	
【授業の到達目標】 現代の産業社会の諸問題と課題に焦点を当て、現代経済の仕組みについても理解ができる。また、教養論文のテーマになりそうな事項や面接試験で話題になりそうな事項を扱う分野でもある。したがって最新の情報を配布プリントなどでフォローさせる。				
【授業の概要】 本講義では、「産業と人間」のあり方を、経済学や社会学の視点から考察する。現代の産業社会の分析に必須のツールとしての理論と現実のいわば「思考の往復」を図りたい。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	資本主義社会の成立	資本主義の成立と発展。ケネーからフリードマンまで。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	ミクロ経済とマクロ経済学	市場メカニズム、市場の失敗、インフレとデフレ。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
3	金融とフィスカルポリシー	金融政策、今日の金融をめぐる動き、金融の自由化・国際化と金融不安。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
4	財政（１）	財政の機能と役割	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
5	財政（２）	財政改革	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 30
6	国際経済と国際貿易	国際収支、外国為替、国際通貨体制。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
7	1回～6回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッション等で理解を求める。	演習問題を解き理解を深める。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
8	国際経済と国際貿易	地域経済統合（EU、ASEAN） BRICS PIIGS	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
9	戦後日本経済史の展開	経済のソフト化・サービス化、産業の空洞化。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
10	産業と人間	集団主義、日本文化論、テクノストレス。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
11	社会保障と社会福祉	各国の社会保障制度の歴史	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
12	人口問題と少子高齢化社会	マルサスの人口論、人口置換論（倍加年数、合計特殊出生率）	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
13	労働環境	男女共同参画社会、ジェンダー問題。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
14	現代社会の課題	現代社会の特徴と現代経営を比較し課題を理解する。	課題研究等レポートにまとめる。	120 60
15	まとめ	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	60 120
【テキスト】プリント配布				
【参考書】 「世界経済論ノート」 石田尾 博夫編著 （台湾国立成功大学）				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況&レポート（30％）、テスト（10％）、試験（60％）で総合的な評価を行う。				

教科番号	0471	授業科目：英語入門演習（Introduction to Basic English）		
開講時期	前期	（全）学科（1）年（2）単位 担当者：村上 美穂・徳山 ティーダ・知念 潔		
【授業の到達目標】 英文法の総復習とその定着を図り、工学基礎としての英語力を身に付けることを目標とする。				
【授業の概要】 本科目では、毎回テキストと辞書を使用。 テキストの予習・復習は毎回必須。予習に基づいた演習形式により、高校時までの英文法の整理・確認をしながら、それを発展させ、工学基礎の定着を図る。定着をはかるためにリスニング演習・オーラル演習は毎回取り入れ、音読の習慣も身につけさせていく。各 Unit 終了後は小テストも実施する。履修生には、各自資格試験等にも積極的に取り組んでもらえるよう積極的に支援していく。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題(予習・復習)	時間
1	導入	オリエンテーション、相互自己紹介、アンケート、ノート指導 等	テキスト全体に目を通しておく	60 分
2	導入	‘Let’s get back to the Basics	テキスト(P4～13)の予習	120 分
3	Unit 1	基本動詞の理解とリスニング	テキスト(P14～16)の予習と復習	120 分
4	Unit 1	基本動詞の応用と英文読解	テキスト(P14～16)の予習と復習	120 分
5	Unit 2	基本動詞(現在)の理解とリスニング	テキスト(P17～19)の予習と復習	120 分
6	Unit 2	基本動詞(現在)の応用と英文読解	テキスト(P17～19)の予習と復習	120 分
7	Unit 3	基本動詞(過去)の理解とリスニング	テキスト(P20～22)の予習と復習	120 分
8	Unit 3	基本動詞(過去)の応用と英文読解	テキスト(P20～22)の予習と復習	120 分
9	Unit 4	進行形の理解とリスニング	テキスト(P23～25)の予習と復習	120 分
10	Unit 4	進行形の応用と英文読解	テキスト(P23～25)の予習と復習	120 分
11	Unit 5	未来形の理解とリスニング	テキスト(P26～28)の予習と復習	120 分
12	Unit 5	未来形の応用と英文読解	テキスト(P26～28)の予習と復習	120 分
13	Unit 6	助動詞の理解とリスニング	テキスト(P29～31)の予習と復習	120 分
14	Unit 6	助動詞の応用と英文読解	テキスト(P29～31)の予習と復習	120 分
15	Unit 7	名詞・冠詞の理解とリスニング	テキスト(P32～34)の予習と復習	120 分
16	Unit 7	名詞・冠詞の応用と英文読解	テキスト(P32～34)の予習と復習	120 分
17	Unit 8	代名詞の理解とリスニング	テキスト(P35～37)の予習と復習	120 分
18	Unit 8	代名詞の応用と英文読解	テキスト(P35～37)の予習と復習	120 分
19	Unit 9	前置詞の理解とリスニング	テキスト(P38～40)の予習と復習	120 分
20	Unit 9	前置詞の応用と英文読解	テキスト(P38～40)の予習と復習	120 分
21	Unit10	形容詞・副詞の理解とリスニング	テキスト(P41～43)の予習と復習	120 分
22	Unit10	形容詞・副詞の応用と英文読解	テキスト(P41～43)の予習と復習	120 分
23	Unit11	比較の理解とリスニング	テキスト(P44～46)の予習と復習	120 分
24	Unit11	比較の応用と英文読解	テキスト(P44～46)の予習と復習	120 分
25	Unit12	命令文・感嘆文の理解とリスニング	テキスト(P47～49)の予習と復習	120 分
26	Unit12	命令文・感嘆文の応用と英文読解	テキスト(P47～49)の予習と復習	120 分
27	Unit13	接続詞(1)の理解とリスニング	テキスト(P50～52)の予習と復習	120 分
28	Unit13	接続詞(1)の応用と英文読解	テキスト(P50～52)の予習と復習	120 分
29	Review	前半の総復習、応用演習、その他	ノートの整理、復習、音読	120 分
30	Review	後半の総復習、応用演習、その他	ノートの整理、復習、音読	120 分
【テキスト】 ‘First Primer’（Revised Edition 改訂新版）：南雲堂 （佐藤哲三・精松伸二・愛甲ゆかり・小手川巧光・福島孝夫・重久睦美・村上美穂・新 彰 共著）				
【参考書・参考資料等】 辞書（電子辞書は講義では使用不可），他は別途指示				
【学生に対する評価】 授業態度(15%)、試験(55%)、ノート・レポート・小テスト(30%)等で総合的な評価をおこなう。				

教科番号	0472	授業科目：実用英語（Practical English）		
開講時期	後期	（ 全 ）学科（1）年（4）単位 担当者：村上美穂・徳山ティータ・知念潔		
【授業の到達目標】				
英語検定の初級～中級レベル以上の英語力に到達し、英語を実際に使い味わえるための実践力を身につける。				
【授業の概要】				
本科目では、テキスト・辞書は毎回使用。予習をもとにした演習形式により、英文法の確認、応用も含めた問題演習・長文問題に取り組む。口頭での応答がスムーズにできるよう、リスニング演習やオーラル演習も積極的に取り入れる。テキストの予習・復習は毎回必須。各 Unit 終了後は小テストも実施する。履修生には、各自資格試験等にも積極的に取り組んでもらえるよう積極的に支援していく。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題(予習・復習)	時間
1	導入	授業オリエンテーション	テキスト全体に目を通しておく。	60 分
2	Unit 14	不定詞(Ⅰ)・動名詞(Ⅰ)の理解とリスニング	テキスト(P53～55)の予習と復習	120 分
3	Unit 14	不定詞(Ⅰ)・動名詞(Ⅰ)の応用と英文読解	テキスト(P53～55)の予習と復習	120 分
4	Unit 15	受動態の理解とリスニング	テキスト(P56～58)の予習と復習	120 分
5	Unit 15	受動態の応用と英文読解	テキスト(P56～58)の予習と復習	120 分
6	Unit 16	完了形の理解とリスニング	テキスト(P59～61)の予習と復習	120 分
7	Unit 16	完了形の応用と英文読解	テキスト(P59～61)の予習と復習	120 分
8	Unit 17	接続詞(Ⅱ) の理解とリスニング	テキスト(P62～64)の予習と復習	120 分
9	Unit 17	接続詞(Ⅱ) の応用と英文読解	テキスト(P62～64)の予習と復習	120 分
10	Unit 18	基本文型の理解とリスニング	テキスト(P65～67)の予習と復習	120 分
11	Unit 18	基本文型の応用と英文読解	テキスト(P65～67)の予習と復習	120 分
12	Unit 19	各種疑問文の理解とリスニング	テキスト(P68～70)の予習と復習	120 分
13	Unit 19	各種疑問文の応用と英文読解	テキスト(P68～70)の予習と復習	120 分
14	Unit 20	不定詞(Ⅱ)の理解とリスニング	テキスト(P71～73)の予習と復習	120 分
15	Unit 20	不定詞(Ⅱ)の応用と英文読解	テキスト(P71～73)の予習と復習	120 分
16	Unit 21	It の特別用法の理解とリスニング	テキスト(P74～76)の予習と復習	120 分
17	Unit 21	It の特別用法の応用と英文読解	テキスト(P74～76)の予習と復習	120 分
18	Unit 22	分詞・動名詞の理解とリスニング	テキスト(P77～79)の予習と復習	120 分
19	Unit 22	分詞・動名詞の応用と英文読解	テキスト(P77～79)の予習と復習	120 分
20	Unit 23	関係代名詞の理解とリスニング	テキスト(P80～82)の予習と復習	120 分
21	Unit 23	関係代名詞の応用と英文読解	テキスト(P80～82)の予習と復習	120 分
22	Unit 23	関係代名詞の総演習	別途配布する教材の予習と復習	120 分
23	Speaking	日常会話表現	別途配布する教材の予習と復習	120 分
24	Listening	各種リスニング演習	別途配布する教材の予習と復習	90 分
25	Listening	各種リスニング演習	別途配布する教材の予習と復習	90 分
26	Cultures	各英語圏の英語の発音、リスニング演習	別途配布する教材の予習と復習	90 分
27	Cultures	英語圏の文化に関する英文読解、フィードバック	別途配布する教材の予習と復習	90 分
28	Review	前半の総復習、応用演習、その他	ノートの整理、復習、音読	120 分
29	Review	後半の総復習、応用演習、その他	ノートの整理、復習、音読	120 分
30	まとめ	学習のまとめと総括	ノートの整理、復習、音読	120 分
【テキスト】『First Primer』（Revised Edition 改訂新版）：南雲堂 （佐藤哲三・楠松伸二・愛甲ゆかり・小手川巧光・福島孝夫・重久睦美・村上美穂・新 彰 共著）				
【参考書・参考資料等】 辞書（電子辞書でないほうがよい）。他は別途指示				
【成績評価基準・方法】 授業態度(15%)、試験(55%)、ノート、レポート&小テスト(30%) 等で総合的な評価をおこなう。				

教科番号	0473	授業科目：総合英語Ⅰ（General Learning of EnglishⅠ）		
開講時期	前期	（全）学科（2）年（2）単位 担当者：村上 美穂		
【授業の到達目標】				
本講義では、文法や語法の再確認をしながら、自分の表現したい内容を様々な英文で表現する方法を身に付ける。				
【授業の概要】				
テキスト・辞書（英和・和英）は毎回使用。言いたいことを、英語らしく適切な表現をする方法を学ぶ。予習をもとに、文法事項の再確認、初歩的なライティング活動、発展的なライティング活動を主に行い、学生同士が話し合い 様々な表現を考え出す時間を設ける。更に、親しみやすいストーリーの中で、日常生活でよく使われる会話表現も身に付ける。各 Unit 終了後には小テスト、学期末にはオーラルテストも実施する。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題(予習・復習)	時間
1	導入・Unit 1	授業オリエンテーション。 基本動詞の用法の復習。	テキスト(P4)の文法事項を理解しノートにまとめ、演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120 分
2	Unit 1	基本動詞（時制の変化）を応用的に用いた英作文。日常会話。口頭演習	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
3	Unit 2	進行形（時制の変化）・未来形・助動詞の用法。	テキスト(P8)の文法事項を理解しノートにまとめ、演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120 分
4	Unit 2	進行形・未来形・助動詞を用いた英作文・日常会話。口頭演習。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
5	Unit 3	名詞（可算・不可算）・冠詞・代名詞（各種代名詞）の用法。	テキスト(P12)の文法事項を理解しノートにまとめ、演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120 分
6	Unit 3	名詞・冠詞・代名詞を応用的に用いた英作文。日常会話。口頭演習。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
7	Unit 4	前置詞（連語も含む）・接続詞（that 以外）の用法。	テキスト(P16)の文法事項を理解しノートにまとめ、演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120 分
8	Unit 4	前置詞・接続詞（that 以外）を応的に用いた英作文。日常会話。口頭演習。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
9	Unit 5	形容詞と副詞。 比較。	テキスト(P20)の文法事項を理解しノートにまとめ、演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120 分
10	Unit 5	形容詞と副詞を使った英作文・言い換え。比較を使った様々な表現。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
11	Unit 6	命令文・感嘆文の用法と応用。	テキスト(P24)の文法事項を理解しノートにまとめ、演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120 分
12	Unit 6	命令文・感嘆文を応的に用いた英作文。日常会話。口頭演習。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
13	Unit 7	不定詞の基本的な用法と応用。	テキスト(P28)の文法事項を理解しノートにまとめ、演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120 分
14	Unit 7	不定詞のその他の用法と応用。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
15	まとめ	学習のまとめと総括。 オーラルテスト。	ノートの整理とまとめ。 オーラルテストの準備。	120 分
【テキスト】 ‘Primer for English Writing’（新藤照夫，佐藤哲三，愛甲ゆかり 共著：南雲堂）				
【参考書・参考資料等】 英和辞書・和英辞書（電子辞書以外のもの），他は別途指示				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況&受講態度（30％）、試験(60%)、小テスト(10%) で総合的に評価する。				

教科番号	0474	授業科目：総合英語Ⅱ（General Learning of EnglishⅡ）		
開講時期	後期	（全）学科（2）年（2）単位 担当者：村上 美穂		
【授業の到達目標】 本講義では、文法や語法の再確認をしながら、自分の表現したい内容を様々な英文で表現する方法を身に付ける。				
【授業の概要】 テキスト・辞書（英和・和英）は毎回使用。言いたいことを英語らしく適切な表現をする方法を学ぶ。予習をもとに、文法事項の再確認、リスニング、初歩的なライティング活動、発展的なライティング活動を主に行い、学生主体で話し合い様々な表現を考え出す機会を設ける。更に、親しみやすいストーリーの中で、日常生活でよく使われる会話表現も身に付ける。各Unit終了後には小テスト、学期末にはオーラルテストも実施する。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題(予習・復習)	時間
1	Unit 8	動名詞の応用（主語・前置詞の目的語・動詞の目的語）。	テキスト(P32)の文法事項を理解しまとめ、演習問題を解く。授業内容の復習と音読。	120 分
2	Unit 8	現在分詞の応用。日常会話。	演習問題(P34)をノートに解く。 授業内容の復習と音読。	120 分
3	Unit 8	過去分詞の応用。日常会話。	演習問題(を)をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
4	Unit 9	各種疑問文（付加疑問文・間接疑問文等）の用法。	テキスト(P36)の文法事項を理解しまとめ、演習問題を解く。授業内容の復習と音読。	120 分
5	Unit 9	It の特別用法。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習と音読。	120 分
6	Unit 9	It の特別な用法を用いた英作文 日常会話。口頭演習。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
7	Unit 10	受動態の応用。 受動態を用いた特殊表現。	テキスト(P40)の文法事項を理解しまとめ、演習問題を解く。授業内容の復習と音読。	120 分
8	Unit 10	受動態がよく用いられる場面・用途	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
9	Unit 11	現在完了の応用。口頭演習。	テキスト(P44)の文法事項を理解しまとめ、演習問題を解く。授業内容の復習と音読。	120 分
10	Unit 11	過去完了の応用。口頭演習。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
11	Unit 12	接続詞 that の応用。読解。	テキスト(P48)の文法事項を理解しまとめ、演習問題を解く。授業内容の復習と音読。	120 分
12	Unit 12	その他の接続詞を用いた様々な構文。 手紙の文例・書き方。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
13	Unit 13	5 文型の復習。	テキスト(P52)の文法事項を理解しまとめ、演習問題を解く。授業内容の復習と音読。	120 分
14	Unit 13	5 文型の応用、言い換え。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
15	まとめ	学習のまとめと総括。オーラルテスト。	ノートの整理とまとめ。 オーラルテストの準備。	120 分
【テキスト】 ‘Primer for English Writing’ （佐藤哲三，愛甲ゆかり，新藤照夫 共著：南雲堂）				
【参考書・参考資料等】 英和辞書・和英辞書（電子辞書以外のもの），他は別途指示				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況&受講態度（30%），試験(60%)，小テスト(10%) で総合的に評価する。				

教科番号	0475	授業科目： 英会話入門 (English Conversation—Introduction)		
開講時期	前期	(全) 学科 (3) 年 (2) 単位 担当者： 徳山 ティーダ		
【授業の到達目標】				
・英語に慣れ親しみ、語彙知識を増やし、英会話をする上で必要な基礎知識を身に着ける。 ・コミュニケーション力だけでなく、リスニング力やスピーキング力も講義でのペアワークやグループワークなどを通して身に着けていく。				
【授業の概要】				
講義と会話の練習などをして基本フレーズを理解させ、実践的に使えるように英語になれていく。さらに、小テストやディスカッションも取り入れて理解を深めさせる。また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題 (予習・復習)	時間(分)
1	Orientation Introduction	導入 オリエンテーション	classroom language の学習。今後の講義の 為の予習や復習の仕方を紹介する	3 0 6 0
2	How's it going?	簡単な自己紹介 (出身や趣味など)、 疑問詞、現在形の復習	テキスト(P1~5)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	6 0 6 0
3	What am I thinking of?	物の表現の仕方、簡単な質問の仕 方、好みなどの言い方	テキスト(P7~11) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
4	Where's the post office?	町・市街地での場所の言い方、道の 尋ね方・案内方法	テキスト(P13~17) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
5	Let's go shopping!	日常生活品の購入方法、飲食店での 注文の仕方	テキスト(P19~23)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	6 0 6 0
6	How often do you exercise?	日課の言い方・聞き方、頻度を表す 表現の活用方法	テキスト(P25~29) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
7	1 回~6 回までのま とめ	6回目までの講義から一つテーマを 選びディスカッションを行い理解 を深める。	演習問題を解き理解を深める。 ディスカッションの内容をまとめる	1 2 0 6 0
8	Time for trivia!	時間の聞き方・言い方、距離や期間 の表現方法	テキスト(P31~35) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
9	What does she look like?	家族構成の言い方・紹介し方、外見 や特徴などの表現方法	テキスト(P37~41) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
10	Which do you prefer?	意見・好みなどを比較級を用いての 表現方法	テキスト(P43~47) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
11	What did you do?	週末の出来事、経験、豆知識などの 紹介方法・表現方法	テキスト(P49~53)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	6 0 6 0
12	What's your future career?	職業別に適した質問の仕方・将来の 目標などを表現方法	テキスト(P55~59) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
13	Have you ever ...?	完了形を用いてこれまでの経験・体 験の表現方法	テキスト(P61~65) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	3 0 6 0
14	これまでの学習内 容を取り入れたス ピーチ	1 つテーマを選びプレゼンをし、プ レゼン内容をディスカッションす る。	プレゼンに対して質問などをし、 ディスカッションの内容をまとめる	1 2 0 6 0
15	Let's review!	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	6 0 1 2 0
【テキスト】 Now You're talking! (Chris Elvin 著 EFL 出版)				
【参考書・参考資料等】 英和・和英辞書。授業中に適宜配布する。				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況&レポート (30%)、小テスト (10%)、試験 (60%) で総合的な評価を行 う。				

教科番号	0476	授業科目： 基礎英会話（Basic English Conversation）		
開講時期	後期	（ 全 ） 学科 (3) 年 (2) 単位 担当者： 徳山 ティーダ		
【授業の到達目標】				
・ 語彙・基本フレーズを増やしリスニング、リーディング力を定着させ、日常会話などで応用できる力を身に付けていく。 ・ 隔週で学習内容を定着させるために簡単なスピーチなどをしてスピーキング力を強化していく。				
【授業の概要】				
講義と会話の練習などをして基本フレーズを理解させ、実践的に使えるように英語になれていく。さらに、スピーチやディスカッションも取り入れて理解を深めさせる。また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	Orientation Introduction	導入 オリエンテーション	classroom language の学習。今後の講義の 為の予習や復習の仕方を紹介	30 60
2	Meeting People	自己紹介（出身や趣味など）、 follow-up questions	テキスト(P7~10)を読みまとめる。 授業の内容を復習。スピーチの準備。	60 60
3	Getting to Know Your Classmates	大学生活や学部の紹介の仕方	テキスト(P11~14)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
4	Talking About Classes	専攻科目・履修科目などの紹介の 仕方	テキスト(P15~18)を読みまとめる。 授業の内容を復習。スピーチの準備。	30 60
5	Talking About Your Daily Life	日課・日常生活の紹介、 頻度を表す副詞	テキスト(P19~23)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
6	Talking About People	外見や性格を表す単語を用いて家 族や友人の紹介	テキスト(P24~28)を読みまとめる。 授業の内容を復習。スピーチの準備。	30 60
7	1回~6回までのまとめ	6回目までの講義から一つテーマ を選びディスカッションを行い理 解を深める。	演習問題を解き理解を深める。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
8	Talking About Last Weekend	過去形を用いて週末の出来事を話 す	テキスト(P34~38)を読みまとめる。 授業の内容を復習。スピーチの準備。	30 60
9	Talking About the Vacation	間違いやすい表現法やフレーズの 学習と説明	テキスト(P39~42)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
10	Talking About Going Out on the Town	外出予定の立て方、招待の仕方、 承諾・断り方	テキスト(P43~48)を読みまとめる。 授業の内容を復習。スピーチの準備。	30 60
11	Talking About Travel	完了形と未来形などを用いて経験 や将来の計画の表現方法	テキスト(P53~56)を読みまとめる。 授業の復習をする。	60 60
12	Talking About Your Opinion	比較級・最上級などを用いて意見 の述べ方・聞き方	テキスト(P61~64)を読みまとめる。 授業の内容を復習。スピーチの準備。	30 60
13	視覚教材 課題・レポート	映像をみて次週のためのディスカ ッションをまとめる	翌週の発表準備。レポートのまとめ。 論点や要点をまとめる。	30 60
14	課題・レポート発表と ディスカッション	視覚教材で取り上げられた問題点 について各自の意見を発表しディ スカッションをする	課題・レポートを発表する。 発表者に自身の意見や見解を述べディ スカッションをする。	120 60
15	Let's review!	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	60 120
【テキスト】 New Time to Communicate [改訂新版]（Eric Bray 著 NANUN-DO）				
【参考書・参考資料等】 英和・和英辞書。授業中に適宜配布する。				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況＆レポート（20%）、スピーチ＆小テスト（30%）、試験（50%） で総合的な評価を行う。				

教科番号	0460	授業科目：基礎ドイツ語(Basic German)		
開講時期	前期	(全) 学科	(1) 年	(2) 単位 担当者：知念潔
【授業の到達目標】 ドイツ語の文字、文を見てちゃんと発音でわかるようになる。ドイツ語の基本的表現を記憶させる。ドイツ語の基本的知識を、文法的な知識と関連させながら、まとめていく。				
【授業の概要】 ドイツ語の基本的知識を解説するとともに、ドイツ語文化圏について紹介する。基本的な事柄から始め、段階をおってじゅんじゅんに積み上げながら進めてゆく。特に発音を重視する。実際の音声面に注意を促しながら進めてゆく。文法と平行して「決まり文句」日常的な場面で使われる表現を紹介し、旅行などですぐ使えるような知識をおりまぜて進めてゆく。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題 (予習・復習)	時間(分)
1	導入(1)	ドイツ語圏の国々とドイツ語について	ドイツ語圏という概念とドイツ語の通時的、共時的認識	90分
2	導入(2)	ドイツ語のアルファベットの読み方	読み方を覚える	90分
3	人称変化(1)	(1) 決まり文句 Danke schön Bitte schön (2) つづりと発音 ローマ字式 JD (3) 基本文例 Sie kommen aus Deutschland	お礼と感謝の表現を覚える 出身地の表現を身に着ける	90分
4	人称変化(2)	(1) Guten Tag Guten Abend (2) Ä Ö Ü (3) Kommen Sie aus Deutschland?	挨拶と質問 (疑問文) の作り方を復習	90分
5	人称変化(3)	(1) Guten Morgen (2) Ich bin groß (3) Ich komme aus Japan	挨拶と自分の出身を言う表現を身につける	90分
6	人称変化(4)	(1) Gute Nacht (2) ei ie eu (3) Woher kommen Sie? Ich komme aus Japan. ドイツやヨーロッパのアクチュアルな出来事について論じてみる	今、ドイツ、ヨーロッパで何が問題になっているか、関心を持って調べる	90分
7	人称変化(5)	(1) Auf Wiedersehen (2) V W (3) Kommen Sie aus Japan? Ja, ich komme aus Japan	別れの挨拶と問答形式の文章を覚える	90分
8	人称変化(6)	(1) Gute Reise (2) Lektion Thema Philosophie (3) Ich bin müde. Du bist müde.	旅行へ行く人に別れの言葉をそして sein の人称変化を学ぶ	90分
9	人称変化(7)	(1) Schönen Abend noch (2) Kopf Aaapfel (3) Er ist Student. Sie ist Studentin.	晩の別れの挨拶と sein の三人称の単数の形を覚える	90分
10	人称変化(8)	(1) Viel Glück (2) König Quelle (3) ich bin wir sind Du bist ihr seid Er ist sie sind Sie sind	Sein の人称変化表を覚える	90分
11	人称変化(9)	(3) ich komme wir kommen Du kommst ihr kommt Er kommt sie kommen Sie kommen	人称変化の表をおぼえる	90分
12	人称変化(10)	Arbeiten の人称変化	音便の項目を理解する	90分
13	人称変化(11)	Fahren の人称変化 A-Ä 型	幹母音の変化を学ぶ	90分
14	人称変化	Sprechen の人称変化 E/IE 型 ヨーロッパの言語に特徴的な人称変化について言語学的な、文化・歴史史的な示唆を与え、論じてみる	もう一つの感母音の変化	90分
15	まとめ	これまで学んだことをまとめて、試験について解説する	これまでのすべてにわたって復習すること	90分
【テキスト】 『生まれて初めてのドイツ語』このテキストを中心に、その他のことも織り込む				
【参考書】 『アポロン独和辞書』 NHK のドイツ語講座 (関心のある学生に)				
【評価基準・方法】 ノート点 (30%)、出席状況 (20%)、テスト (50%) で総合的に評価する				

教科番号	0461	授業科目：ドイツ語 (German)		
開講時期	後期	(全) 学科	(1) 年	(2) 単位 担当者：知念潔
【授業の到達目標】ドイツ語の基本的運用。例文を用いて、重要な文例に絞って、繰り返し反復させて、身に付けさせる。発音させ、親しませ、習うより慣れよ、を实践する。				
【授業概要】ドイツ語の応用知識、ドイツ語圏の文化についての紹介も行い、語学の知識とともに「言語を用いて意思疎通する」人間のコミュニケーションの意義についても協調したい				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題 (予習・復習)	時間(分)
1	人称変化(1)	1 決まり文句 Danke schön 2 数字 eins zwei drei 3 基本文例 Sie haben Hunger	「ありがとう」は？ 数字の1, 2, 3は？	90分
2	人称変化(2)	1 Bitte, schön 2 vier fünf sechs 3 Haben Sie Geld? Ja. Ich habe Geld.	「どういたしまして」は？ 「お金はありますか」？	90分
3	人称変化(3)	1 toi, toi, toi 2 sieben acht neun 3 Hast du Zeit? Ja, ich habe Zeit.	「くわばら、くわばら」は？ 数字の7, 8, 9は？	90分
4	人称変化(4)	1 Gott sei Dank 2 Zehn elf zwölf drei 3 Er hat heute Zeit Sie hat morgen English	「やれやれ (安堵)」は何という か？ 10, 11, 12の数字 は？	90分
5	人称変化(5)	1 Auf Deutsch, bitte 2 dreizehn vierzehn fünfzehn 3 Wir haben Geld Ihr habt Zeit. Sie haben heute Zeit. Ich habe wir haben Du hast ihr habt Er hat sie haben Sie haben	Haben の人称変化を正しく記憶 せよ	90分
6	性別と冠詞 (1)	1 Ja, gerne. Nein, Danke 2 fünfzehn sechzehn 3 Der Tisch ist klein. Die Schule ist alt. Das Haus ist neu. ドイツ、ヨーロッパのアクチュアルな問題	「はい、いただきます。」 「いいえ、けっこうです」は何と いう？	90分
7	性別と冠詞 (2)	1 Grüß Gott 2 siebzehn achzehn 3 Der Berg ist hoch Die Kirche ist alt Das Schloss ist groß	「その山は高い」「その教会は古 い」「その城は大きい」はそれぞ れ、何というか？	90分
8	性別と冠詞 (3)	Der Tisch die Tür das Fenster 性別は定冠 詞をつけて 1 Pst 2 neunzehn zwanzig	これまでの名詞の語彙を冠詞を つけた形で言ってみよ	90分
9	不定冠詞(1)	1 Servus 2 einundzwanzig zweiundzwanzig 3 ein Tisch ein Haus eine Schule	21, 22の数字は？	90分
10	不定冠詞(2)	1 Wein auf Bier 2 vierzig fünfzig sechzig 3 Was ist das? Das ist ein Tisch.	「これは何ですか」答えて下さい 「机です」	90分
11	否定冠詞	1 Fröhliche Weinachten 2 siebzig achzig neunzig 3 Das ist keine Uhr	「これは机です」「これは机では ありません」？	90分
12	所有冠詞(1)	1 Ein glückliches neues Jahr 2 dreißig hundert 3 mein Tisch mein Haus meine Schule	「新年おめでとうございます」？	90分

1 3	所有冠詞(2)	1 Deutsch macht Spaß 2 zwei hundert drei hundert 3 Der Mann ist mein Freund. Die Frau ist meine Freundin.	「その女の子は私のガールフレンドです」?	90分
1 4	4格	1 Wein auf Bier 2 tausend zweitausendsechzehn 3 Ich kenne den Mann. 「言語は差異である」この原理を考えてみよう	私はその男の人をよく知っています」?	90分
1 5	人称代名詞の4格	1 Auf Wiedersehen 2 zehntausend hunderttausend million 3 Liebst du mich? Ich liebe dich.	私はあなたを愛しています あなたは私を愛していますか ドイツ語で言ってみなさい	90分
【テキスト】『生まれて初めてのドイツ語』これをメインに関連事項を付け加える				
【参考書・参考資料】折にふれ授業中に紹介する。				
【成績評価基準・方法】 出席状況(30%)、ノート提出(10%)、試験(60%)で総合的に評価する。				

教科番号	0065	授業科目：日本語講座A（ Japanese course A ）		
開講時期	通年	（ 留学生 ）学科（1）年（4）単位 担当者：村上美穂、徳山ティダ		
【授業の到達目標】				
・ 日常会話に対応でき、且つ、2年次以降の講義を理解できる。				
【授業の概要】				
留学生を対象にした日本語初級クラスの講義を行う。（文法を中心に）				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題	時 間 (分)
1	レディネス調査	プレイスメントテスト、インタビュー	試験の復習	30
2	副助詞①	「は」（主題）、「も」（並列）	まとめ問題	30
3	格助詞①	「を」（対象）、「が」（対象）	〃	30
4	格助詞②	「に」（時間・着点）、「で」（手段・場所）	〃	30
5	格助詞③	「から」（起点）、「まで」（終点）	〃	30
6	形容詞①	「な形容詞」と「い形容詞」	〃	30
7	時制	形容詞文・動詞文・名詞文の時制	〃	30
8	格助詞④	「に」（目的・場所）、「を」（出発点）	〃	30
9	形容詞②	形容詞の接続形	〃	30
10	動詞①	て形＋います（反復）	〃	30
11	動詞②	て形＋います（進行）	〃	30
12	文型①	～は～が [形容詞]	〃	30
13	動詞③	た形＋ことがあります	〃	30
14	動詞④	（ます形）＋たい	〃	30
15	復習	既習事項の確認		
16	動詞⑤	て形＋ください	〃	30
17	動詞⑥	て形＋もいいです／はいけません	〃	30
18	動詞⑦	ない形＋ください	〃	30
19	動詞⑧	（ない形）＋ければなりません	〃	30
20	動詞⑨	た形＋ほうがいい	〃	30
21	動詞⑩	た形＋り、た形＋り する	〃	30
22	文体	「ですます体」と「基本体」	〃	30
23	副詞節①	た形＋ら	〃	30
24	副詞節②	基本体＋とき	〃	30
25	副詞節③	て形＋から （ます形）＋ながら	〃	30
26	動詞⑪	辞書形＋の／こと	〃	30
27	動詞⑫	可能形	〃	30
28	副詞節④	基本体＋ので／から	〃	30
29	引用節	基本体＋と思います	〃	30
30	復習	既習事項の確認		
【テキスト】 プリント、資料配布				
【参考書・参考資料等】 「新文化初級日本語Ⅰ」（文化外国語専門学校）				
【成績評価基準・方法】 出席状況及び受講態度（20%）、コース期間中のまとめ問題（30%）、試験（50%）により、総合的な評価を行う。				

教科番号	0066	授業科目：日本語講座B（ Japanese course B ）		
開講時期	通年	（ 留学生 ）学科（2）年（4）単位 担当者：村上美穂、徳山ティダ		
【授業の到達目標】				
・ 日常会話に対応でき、且つ、2年次以降の講義を理解できる。				
【授業の概要】				
留学生を対象にした日本語初級クラスの講義を行う。（発話を中心に）				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題	時間（分）
1	自己紹介	スムーズな自己紹介を身につける	エッセイ暗記	30
2	家族の紹介	家族について話す	〃	30
3	好きな物	好きなこと、嫌いなことについて話す	〃	30
4	私の一日①	日常生活について話す（日中）	〃	30
5	〃 ②	〃 （夜）	〃	30
6	金曜日の夜①	金曜日の夜（毎週）について話す	〃	30
7	〃 ②	〃 （先週） 〃	〃	30
8	外出①	外出時の出来事について話す	〃	30
9	〃 ②	〃	〃	30
10	私の家族①	家族について話す（属性）	〃	30
11	〃 ②	〃 （性格）	〃	30
12	〃 ③	〃 （現状）	〃	30
13	私のしたい事①	経験について話す	〃	30
14	〃 ②	願望について話す	〃	30
15	まとめ	これまでのエッセイをまとめる		
16	きまり①	「きまり」の表現を理解する	〃	30
17	〃 ②	「きまり」の表現を試みる	〃	30
18	忙しい毎日	しなければならない事について話す	〃	30
19	大変な仕事	「禁止」の表現を理解する	〃	30
20	気をつける事①	したほうがいい事について話す	〃	30
21	〃 ②	気候について話す	〃	30
22	復習	日本語母語話者との会話を練習する	〃	30
23	毎日の生活①	毎日の生活について話す①	〃	30
24	〃 ②	〃 ②	〃	30
25	〃 ③	〃 ③	〃	30
26	私の楽しみ	趣味について話す	〃	30
27	できる事①	能力について話す	〃	30
28	〃 ②	できない事について話す	〃	30
29	〃 ③	感想について話す	〃	30
30	まとめ	エッセイをまとめて、大きな話にする		
【テキスト】 「NEJ テーマで学ぶ基礎日本語 Vol.1」（くろしお出版）				
【参考書・参考資料等】 なし				
【成績評価基準・方法】 出席状況及び受講態度（20%）、コース期間中のエッセイ（30%）、試験（50%）により、総合的な評価を行う。				

教科番号	0159	授業科目：コミュニケーション技術Ⅰ（Communication TechnologyⅠ）		
開講時期	前期	（全）学科（Ⅰ）年（Ⅰ）単位 担当者：全学科教員		
【授業の到達目標】				
・コミュニケーション技術の基礎的・基本的な技術や能力を養う				
【授業の概要】				
コミュニケーション技術とは、読み、書き、話し、聴くといった言葉を媒介にした基本的行為を効果的に行うための技術である。 自分の思っていることを誤解なく相手に伝えたり、相手の話を正確に理解するために不可欠なコミュニケーション技術は、大学生活における人間関係を円満にするための技術でもあり、勉学に勤しむ学生が磨いておくべき大切なスキルである。 コミュニケーション技術Ⅰでは、コミュニケーション技術の基礎的・基本的な技術や能力を養うことを主眼とする。 また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	オリエンテーション	講義の目的、進め方の説明、自己紹介で自分の論理力を知る。基本的な表現のルール、原稿用紙の使い方ができる。	資料を読みまとめる。	30
			授業の内容を復習する。	60
2	論理力を高める（Ⅰ）	「まず論理、そして説明」のクセをつける。「SWIH」を説明する。新聞を丹念に読む。	資料を読みまとめる。	60
			授業の内容を復習する。	60
3	論理力を高める（Ⅱ）	作文し、音読する。「自分情報」を整理する。「外部情報」を整理する。	資料を読みまとめる。	60
			授業の内容を復習する。	60
4	表現力を高める（Ⅰ）	「結起承転結」を身につける。 「話の4要素」を理解する。	資料を読みまとめる。	30
			授業の内容を復習する。	60
5	表現力を高める（Ⅱ）	「センテンス」を短くする。自然なイントネーションで聴きやすい話しができる。ロールプレイングを行う。	資料を読みまとめる。	60
			ロールプレイングの内容をまとめて復習する。	60
6	理解力を高める（Ⅰ）	効果的な3つの「間」のサインができる。 「聴いてますよ」というサインが出せる。ロールプレイングを行う。	資料を読みまとめる。	60
			ロールプレイングの内容をまとめて復習する。	60
7	理解力を高める（Ⅱ）	質問することを前提に聴くことができる。メモを取りながら聴くことができる。グループ討議を行う。	発表用の原稿を作成する。	120
			グループ討議の内容をまとめて復習する。	60
8	対応力・応用力を高める	1回から7回までに学んだことを自分なりにまとめて発表する。プレゼンテーションを行う。	発表用の原稿を作成する。	120
			発表の内容等をまとめて復習する。	60
【テキスト】				
プリント、資料、その他				
【参考書・参考資料等】				
「社会人として必要な「聞く力・話す力」の高め方」高梨敬一郎著 こう書房				
【学生に対する評価】				
ノート取得状況、発表態度、授業態度等（70%）、レポート（30%）で総合的な評価を行う。				

教科番号	0160	授業科目：コミュニケーション技術Ⅱ（ Communication Technology Ⅱ ）		
開講時期	後期	（ 全 ）学科（3）年（1）単位 担当者：全学科教員		
【授業の到達目標】				
・コミュニケーション技術の応用力を培い、実践的な技術や能力を養う。				
【授業の概要】				
コミュニケーション技術とは、読み、書き、話し、聴くといった言葉を媒介にした基本的行為を効果的に行うための技術である。 自分の思っていることを誤解なく相手に伝えたり、相手の話を正確に理解するために不可欠なコミュニケーション技術は、大学生活における人間関係を円満にするための技術でもあり、勉学に勤しむ学生が磨いておくべき大切なスキルである。 コミュニケーション技術Ⅱでは、来るべき就職活動に備え、コミュニケーション技術の応用力を培い、実践的な技術や能力を養うことを主眼とする。 また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	オリエンテーション	講義の目的、進め方の説明	資料を読みまとめる。	30
		自己紹介文を書き、自己紹介をする。	授業の内容を復習する。	60
2	書く力を高める（1）	就職試験の小論文・作文の書き方（1）	資料を読みまとめる。	60
		「将来の夢」を書き、自分をアピールする。	授業の内容を復習する。	60
3	書く力を高める（2）	就職試験の小論文・作文の書き方（2）	資料を読みまとめる。	60
		志望理由、就職作文を書く。	授業の内容を復習する。	60
4	書く力を高める（3）	履歴書の書き方を身につける。	資料を読みまとめる。	30
		就職観を書き、発表・意見交換をする。	授業の内容を復習する。	60
5	聞く力・話す力を高める（1）	面接試験の受け方（1）「何を聞かれているか」、	資料を読みまとめる。	60
		質問の趣旨を見極める。 ロールプレイングを行う。	ロールプレイングの内容 をまとめて復習する。	60
6	聞く力・話す力を高める（2）	面接試験の受け方（2）想定問答を用意しておく。	資料を読みまとめる。	60
		ロールプレイングを行う。	ロールプレイングの内容 をまとめて復習する。	60
7	実践力を高める（1）	模擬面接試験（1）	発表用の原稿を作成する。	120
		グループ討議で反省点を話し合う。	グループ討議の内容をま とめて復習する。	60
8	実践力を高める（2）	模擬面接試験（2）	発表用の原稿を作成する。	120
		グループ討議で反省点を話し合う。	グループ討議の内容をま とめて復習する。	60
【テキスト】				
プリント、資料、その他				
【参考書・参考資料等】				
『社会人として必要な「聞く力・話す力」の高め方』高梨敬一郎著 こう書房				
【学生に対する評価】				
ノート取得状況、発表態度、授業態度等（70%）、レポート（30%）で総合的な評価を行う。				

教科番号	0917	授業科目：インターンシップ（事前指導） (Basic Training for Internship (Early guidance))		
開催時期	前期	（ 全 ）学科（2）年（1）単位 担当者： 竹下 俊一		
【授業の到達目標】 ・仕事に対する興味・関心・学習意欲を高め、ビジネスマナーや職業意識を身につけることができる。 次年度以降の実体験に向けたガイダンスを行う。				
【授業の概要】 「インターンシップ」は学生の職業観・就業意識の高い人材を育成することをねらいとしているもので、学生は就業体験を通して社会や企業の実情を知ることにより仕事に対する興味・関心・学習意欲を高め、自立心を向上させ、ビジネスマナーや職業意識を身につけることができる。ここでは、企業活動・企業の組織、組織の中での業務分担・人間関係などについて学び、併せて、就職活動に資する各種指導を行う。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	望ましいインターンシップ	体験の意義についてのオリエンテーション	シラバスを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	企業活動と組織（1）	企業活動と組織体制 組織人のあり方	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
3	企業活動と組織（2）	履歴書・自己紹介についての心得	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
4	企業活動と組織（3）	小論文とテーマ設定についての心得	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
5	企業活動と組織（4）	望ましい企業人になるためには 企業人の心得	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
6	企業活動とコミュニケーション（1）	受け入れ先企業の選定 研修テーマ設定 職種、時期、期間等	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
7	企業とコミュニケーション（2）	自己紹介と企業マッチング	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
8	企業活動とコミュニケーション（3）	企業活動におけるコミュニケーションの仕方（連絡、交渉）	シラバスを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
9	専門的業務への参加（1）	専門的業務の学習及び具体的な実施に向けてのガイダンス	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
10	専門的業務への参加（2）	専門的業務の学習（企業事前研究 事前指導）	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
11	専門的業務への参加（3）	マナー講習会 インターンシップの実際	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
12	報告書の書き方（1）	報告書作成についての実習	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	60 60
13	報告書の書き方（2）	報告書作成についての実習	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
14	報告書の書き方（3）	報告会プレゼン資料作成についての実習	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
15	報告会参加発表	就業体験の報告書提出と報告会	発表用のレポートを作成する。 プレゼンテーションの内容をまとめる。	120 60
【テキスト】 プリント（インターンシップの手引）				
【参考書・参考資料等】 インターンシップ報告資料等				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況&受講態度（50%）、レポート（50%）で総合的な評価を行う。				

教科番号	0920	授業科目：インターンシップ（Internship）
開講時期	集中	（全）学科（1～4）年（2）単位 担当者：竹下 俊一
【授業の到達目標】 企業での就業体験を通して、コミュニケーションの重要性と社会性を学び、さらに実務遂行のために必要不可欠な基礎知識を習得させるとともに将来の進路決定に役立てることができるようにする。		
【授業の概要】 大学における学問的知識は、社会に出てからの企業における業務遂行のための基礎的および専門的知識を与えるものである。しかし、大学における講義だけでは実際の企業における業務遂行の実践的感覚を養うことは難しい。そこで、地元企業或いは学生の出身地における企業に学生を派遣し、実務を行わせることによって、実務遂行過程の複雑さ、より高度な専門知識の必要性、コミュニケーションの重要性、責任感や達成時の満足感等の実践的な経験を積ませる。		
【授業要旨】		
題目と授業内容 ○ 事前指導：インターンシップの具体的な活動内容等についての確認を行う。 また、「インターンシップ計画書」と「インターンシップ報告書」並びに活動中の障害保険についての説明を行う。 ○ 活動：インターンシップに参加する。 ・企業での就業体験活動 ・専門的業務への参加 ○ 活動期間：主に長期休暇期間に行う。 ○ 活動時間：1日の活動時間は6～8時間とする。 ○ 修得単位：60時間以上の活動に対して2単位を与える。 ○ 事後指導：「インターンシップ報告書」の提出		
【テキスト】 資料プリント		
【参考書・参考資料等】 なし		
【学生に対する評価の方法】 インターンシップ報告書、企業の評価等を総合的に評価する。		

教科番号	0927	授業科目：地域企業インターンシップ (Local Company Internship)		
開講時期	集中	(全) 学科 (2～3) 年 (2) 単位 担当者：竹下 俊一		
【授業の到達目標】 鹿児島県内の企業での就業体験を通して、地域企業に対する理解を深めるとともに、実際の企業における業務遂行の実践的感覚を養うことができる。 また、コミュニケーションの重要性と社会性を学び、さらに実務遂行のために必要不可欠な基礎知識を習得させるとともに将来の進路決定に役立てることができる。				
【授業の概要】 大学における学問的知識は、社会に出てからの企業における業務遂行のための基礎的および専門的知識を与えるものである。しかし、大学における講義だけでは実際の企業における業務遂行の実践的感覚を養うことは難しい。そこで、地元企業或いは学生の出身地における企業に学生を派遣し、実務遂行過程の実際を学ぶことで、より高度な専門知識の必要性やコミュニケーションの重要性、仕事に対する責任感や達成感等を実践的な経験を通して学ぶ。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題 (予習・復習)	時間(分)
1	ガイダンス①	鹿児島県内の企業についての紹介と説明	希望する企業について、自ら情報を集め内容をまとめる。	60
2	ガイダンス②	計画書、報告書、契約書、傷害保険等の記入説明	就業体験企業の選択・決定書類等の記入と確認	90
3 (28	就業体験活動	・5日間以上の体験活動 ・企業での就業体験活動 ・専門的業務への参加 ・業務遂行の実践的感覚の修得 ・実践的技術感覚の修得	・就業体験活動において、気付いたことをまとめる。 ・不明な点や疑問点を尋ねてノートにまとめる。	90 × 5日 = 450
29	報告会参加発表	就業体験の報告書提出と報告会での発表	発表用のレポートを作成する。プレゼンテーションの内容をまとめる。	90
30				60
【テキスト】 資料プリント				
【参考書・参考資料等】 なし				
【成績評価基準・方法】 インターンシップ報告書、企業の評価等を総合的に評価する。				

教科番号	0925	授業科目：地域社会貢献活動（Community charitable activity）
開催時期	集中	（全）学科（１～４）年（２）単位 担当者： 竹下 俊一
【授業の到達目標】 地域社会貢献活動とは、学生が自発的に災害復興支援並びに社会福祉や非営利組織の各種イベント等での支援活動などに参加し、社会に貢献する活動を実際に体験することである。そして、そこでの体験を通して、社会に貢献することの大切さや奉仕の精神や意義を学び社会連帯についての認識を深めさせる。		
【授業の概要】 災害復興支援並びに社会福祉や非営利組織の各種イベント等での支援活動などに参加して、社会での実践力や企画力を養うとともに自分の職業適性や将来計画を考える機会とする。さらに、地域社会貢献活動を通して自発性、協力、共生、相互貢献等を理解する。		
【授業要旨】		
題 目 と 授 業 内 容		
○ 事前指導：地域社会貢献活動の具体的な活動内容等についての確認を行う。 また、「地域社会貢献活動計画書」と「地域社会貢献活動報告書」並びに活動中の障害保険についての説明を行う。 ○ 活 動：地域社会貢献活動に参加する。 ・災害復興支援等のボランティア活動 ・社会福祉団体や非営利組織の各種イベント等の支援活動 ○ 活動期間：主に長期休暇期間に行う。 ○ 活動時間：１日の活動時間は６時間とし、１時間の活動に対して１ポイントを与える。 ○ 修得単位：６０ポイント以上で２単位とする。 ○ 事後指導：「地域社会貢献活動報告書」の提出		
【テキスト】 プリント（地域社会貢献活動の手引）		
【参考書・参考資料等】 地域社会貢献活動報告資料等		
【成績評価基準・方法】 地域社会貢献活動報告書とレポート等を総合的に評価する。		

教科番号	0928	授業科目：地域貢献演習（Regional Contribution Seminar）		
開講時期	集中	（全）学科（１～２）学年（２）単位 担当者：竹下 俊一		
【授業の到達目標】 ・地域の課題や魅力を自ら発見することができる ・現地調査の結果を適切にまとめ、具体的な解決策等を提示することができる ・地域の持続可能な発展を考える視点や発想を涵養する				
【授業の概要】 鹿児島県内の地域の方々と協働し、大学で学んだ専門性を活かした地域おこしや地域活性化に取り組み、地域に対する理解と愛着を深め、取り組んだ活動の地域貢献度を評価する実践に即したプロジェクト演習とする。 また、本科目では、調査によって地域の課題や魅力を受講生自ら発見し、解決策や活用策を立案・実施したのちにその経緯や成果を公表するというプロセスを実体験することで、将来的に一市民として地域活性化に貢献しうる視点や発想の涵養を目指す。開講時期については受講希望者数や対象地の受け入れ状況に応じて変更される可能性もある。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	ガイダンス	地域貢献演習についての説明	演習の概要、社会情勢、背景の理解についてまとめる。	60
2 } 10	①調 査	・地域の理解・ニーズの把握 課題の抽出と対応策の提案 ・地域住民との交流を通しての地域理解の深化	グループによる現地調査を通じた地域理解やニーズの把握についてまとめる。	120
11 } 19	②立 案	・解決策についてのグループ討議 ・KJ法によるグループ学習	・調査結果のとりまとめをする。 ・グループディスカッションによる解決策をまとめる。 ・活用策や地域の将来的なビジョン等の立案を考える。	120
20 } 28	③実 施	・地域の理解・ニーズの把握 ・課題の抽出と対応策の提案	・立案した解決策の実施についてまとめる。	120
29	④発 表	・成果発表	・発表のための資料を作成する。 ・演習対象地域に向けて成果を発表する	90
30				90
【テキスト】 課題に応じて適宜配布				
【参考書・参考資料等】 課題に応じて適宜配布				
【成績評価基準・方法】 ① 課題への取り組み、②成果のとりまとめと提案・発表内容を総合的に評価				

教科番号	0918	授業科目： 就業力演習		
開講時期	前期	(全) 学科 (3) 年 (2) 単位 担当者： 切手純孝、福永知哉、知念 潔、		
【授業の到達目標】 将来の進路を決定するためには、自分の性格や興味・関心、自分は何に向いているのかという適性を、きちんと把握しておくことが必要である。そのために、最新の就職情報や適性検査等を通して自己理解を深める。 また、就職試験等を受けるのに必要な学力の向上、面接試験等を受ける際のコミュニケーション力の向上などを図ることを目的とする。				
【授業の概要】 人が働く際には、能力、興味・関心、価値観の3つを軸に考え、職業を選択することが大切であると言われている。そこで授業を通して、自分の性格や興味・関心などの適性を把握し、さらにコミュニケーション力を高めるために演習も実施する。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題 (予習・復習)	時間(分)
1	就職情報	オリエンテーション、最新の就職情報と検索の仕方、	シラバスを読んで準備をする。 資料を基に授業の内容を復習する。	30 60
2	就職試験の傾向と対策 1	言語的な常識問題 (国語、社会)と演習・解説	テキストを読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	30 60
3	就職試験の傾向と対策 2	数理的な常識問題 (数学、理科)と演習・解説	テキストを読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	30 60
4	就職試験の傾向と対策 3	時事問題と言語的な常識問題の演習・解説	テキストを読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	30 60
5	SPI 1	就職試験問題の傾向と対策、言語能力の問題演習と解説	テキストと資料を読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	60 60
6	SPI 2	就職試験問題の傾向と対策、数理能力の問題演習と解説	テキストを読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	60 60
7	就職試験の傾向と対策 4	数理的な常識問題 (数学、理科)と演習・解説	テキストを読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	30 60
8	就職試験の傾向と対策のまとめ 1	1～7までのまとめと小テストを実施し、その解答と解説	小テストの準備をする。 資料を基に授業の内容を復習する。	120 60
9	適性検査 1	適性検査の実施方法と解説、	テキストと資料を読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	30 60
10	就職試験の傾向と対策 5	数理的な常識問題 (数学、理科)と演習・解説	テキストと資料を読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	30 60
11	適性検査 2	適性検査の結果と解説、適性と職業との関連	テキストと資料を読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	30 60
12	就職試験の傾向と対策 6	言語的な常識問題 (国語、社会)と演習・解説	テキストを読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	30 60
13	マナー教室	面接試験における礼儀作法と敬語の基本 (実技演習を含む)	面接試験の事前準備につて調べる。 資料を基に授業の内容を復習する。	120 60
14	就職試験の傾向と対策 7	数理的な常識問題 (数学、理科)と演習・解説	テキストと資料を読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	30 60
15	就職試験の傾向と対策のまとめ 2	SPI 全国模試と全国的な就職試験の傾向と対策	SPI のまとめと復習問題をする。 9～14の整理とまとめをする。	120 120
【テキスト】 SPI対策問題集 就職情報研究会 編 実務教育出版、 プリントと資料				
【参考書・参考資料等】 なし				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況&レポート (30%)、小テスト (10%)、試験 (60%) で総合的な評価を行う。				

教科番号	0934	授業科目：ベンチャービジネス論（Theory of Venture Business）		
開講時期	前期	（全）学科（3）年（2）単位 担当者：當金 一郎		
【授業の到達目標】 ベンチャー企業とは何かを理解させるとともに、その実践において何が重要なのかを見取って理解する。 特にこれまでに無い新しいビジネスを始める時には、事業計画をしっかりと立てると共に、その「利益を生み出すビジネスモデル」を確立しなければ、事業資金が得られないことを理解させる。				
【授業の概要】 本講義ではベンチャー企業を興し、持続的に経営し、さらに発展させるためにはどうしたらよいかを論ずる。 実際にはベンチャー企業を興すこともそうであるが、これをつぶさないように運営していくことはかなり難しい。 更にマスコミ等で取り上げられるように、ある程度の規模の企業に発展させていくのは実際には運の部分が大きく左右する。それはなぜか、過去の日本や海外において大きく発展して企業の事例を題材として考察する。 特に重要なのはビジネスモデルと事業計画であるので、これについても講義を行う。 毎回の授業の内容についての課題レポートを書かせて提出させると共に、次回の講義内容のあらましに関して Moodle に置いてある資料を基に、インターネット等で十分に調べて講義に臨む必要がある。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	企業とは何か	企業の存在理由、「企業」概念の歴史の変遷	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してレポートを作成する。	60 120
2	ベンチャーとは何か	アメリカ及び日本におけるベンチャーの定義、アメリカ・台湾・日本のベンチャー企業	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してレポートを作成する。	60 120
3	日米ベンチャー比較（1）	アメリカにおけるベンチャーの位置づけ、ベンチャー支援体制、ベンチャー発展の歴史	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してレポートを作成する。	120 90
4	日米ベンチャー比較（2）	日本におけるベンチャーの位置づけ、ベンチャー支援体制、ベンチャー発展の歴史	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してレポートを作成する。	90 150
5	アジアのベンチャー事情	台湾、香港、中国、韓国等における経済状況とベンチャー企業の実態	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してレポートを作成する。	90 150
6	ベンチャーの要因分析	ベンチャー企業の成功事例と失敗事例、成功要因・失敗要因の分析	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してレポートを作成する。	90 150
7	1～6のまとめ	小テスト①、これまでの内容を基にベンチャービジネスについて議論する。	小テストの準備 ディスカッションの内容を纏め Moodle へアップ	150 180
8	ベンチャーの経営理念	経営理念の必要性、複数のベンチャー企業の経営理念の紹介	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してレポートを作成する。	90 150
9	ベンチャーの経営戦略	経営戦略とは何か、発展戦略・競争戦略・変化対応戦略とは何か	テキスト pp. 67－81 を事前に読んでくる。 章末の演習問題を解いてくる。	90 150
10	ビジネスモデルとは	ビジネスモデルの必要性、ビジネスモデルと経営理念・経営戦略の関連性	テキスト pp.82－94 を事前に読んでくる。 章末の演習問題を解いてくる。	90 150
11	ビジネスモデル（1）	アメリカの複数の企業のビジネスモデルを紹介	テキスト pp.95－112 を事前に読んでくる。 章末の演習問題を解いてくる。	90 150
12	ビジネスモデル（2）	日本の複数の企業のビジネスモデルを紹介	テキスト pp.113－128 を事前に読んでくる。 章末の演習問題を解いてくる。	90 150
13	ベンチャー実践事例（1）	日本におけるベンチャー実践の事例を紹介する	テキスト pp.140－174 を事前に読んでくる。 章末の演習問題を解いてくる。	90 150
14	ベンチャー実践事例（2）	アメリカにおけるベンチャー実践の事例を紹介する	テキスト pp.175－193 を事前に読んでくる。 章末の演習問題を解いてくる。	90 150
15	総まとめ	小テスト②、学習内容を基に再度ベンチャービジネスについて議論する。	小テストの準備 ディスカッションの内容を纏め moodle へアップ	150 180
【テキスト】 毎回プリントを配布する。				
【参考書・参考資料等】 「起業学の基礎～アントレプレナーシップとは何か～」 高橋徳行 著、勁草書房				
【学生に対する評価の方法】 毎回出す課題のレポート提出状況（50％）、ビジネスプラン（10％）、最終テスト（40％）で総合的な評価を行う。				

教科番号	0935	授業科目：マーケティング論 (Marketing Theory)		
開講時期	後期	(全) 学科 (2) 年 (2) 単位 担当者： 石田尾 博夫		
【授業の到達目標】 マーケティングの基本的な分析手法を知る。企業におけるマーケティングの役割、IT 社会におけるマーケティングの特徴を理解する。				
【授業の概要】 マーケティングとは「企業が価値を創造し、提供し、他の人々との交換することを通じて、消費者が望むニーズ、ウォンツを満たすこと」である。分りやすく言えば、「起業家にとって最適な目標市場を導きだして利益を上げるために」「消費者の行動分析、競合企業との競争分析、自社の経営資源分析を行うこと」となる。この視点に立って、より具体的に例を挙げながらマーケティングについて解説する。				
【授業要旨】				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題 (予習復習)	時間 (分)
1	マーケティングコンセプト	マーケティングの定義、マーケティング戦略、顧客の視点	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	マーケティングの必要性	生産志向、製品志向、販売志向、顧客志向	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
3	マーケティング環境分析	PEST 分析、5 フォーセズ、3C、	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
4	マーケティング環境分析	SWOT 分析、マズローの欲求 5 段階説	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
5	ターゲット市場の選定	セグメンテーション	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
6	ターゲット市場の選定	ターゲティング、ポジショニング	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
7	マーケティングミックスの最適化	4P の整合性とは	授業前半総括、課題の検討と発表、ディスカッション	90
8	戦略的マーケティング	製品戦略	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
9	マーケティング・ミックス	価格戦略	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
10	マーケティング・ミックス	流通戦略	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
11	マーケティング・ミックス	コミュニケーション戦略、AIDMA、AMTUL、損益分岐点	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
12	マーケティングのキーワード	リサーチ、CRM、RFM 分析	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
13	インターネット・マーケティング	サービスマーケティングの 6P とは	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
14	さまざまなマーケティング	サービス、品質の見える化	授業の全体総括とグループディスカッション。	90
15	まとめ	学修のまとめと総括	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
【テキスト】 講義ノート「マーケティング論」：石田尾博夫著（日本経済大学）				
【参考書・参考資料等】 MBAマーケティング：(ダイヤモンド社)、通勤大学 MBA2 マーケティング：青井倫一（総合法令）、コトラーを読む：酒井光男（日経文庫）、マーケティング活動の進め方：木村達也（日経文庫）、ベーシックマーケティング入門：相原修（日経文庫）、日経ビジネス誌				
【成績評価基準・方法】 受講態度(20%)、レポート、小テスト(20%)、最終評価試験(60%)を行い、総合的な評価を行う。				